４　学則の変更の趣旨等を記載した書類

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目　次

ア．学則変更（収容定員変更）の内容

イ．学則変更（収容定員変更）の必要性

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う
　教育課程等の変更内容

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア．学則変更（収容定員変更）の内容

秋田大学医学部医学科の平成２０年度以降の入学定員については，同２０年度に「新医師確保総合対策」に基づき１０名を，同２１年度に「緊急医師確保対策」に基づき５名を，同２２年度に閣議決定「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき７名を，同２３年度に３名，同２６年度に２名，同２７年度に２名を「新成長戦略」に基づき，臨時定員増をそれぞれ実施した。

令和８年度を期限とする２９名の入学定員増について，令和９年度に限り再度の入学定員増を行い，定員増を行わなかった場合の９５名から１２４名に変更する。

これに併せて，収容定員についても上記の入学定員増により，再度の定員増を行わなかった場合の５９５名から６２４名に変更する。

イ．学則変更（収容定員変更）の必要性

資料１「秋田県医師確保計画（抜粋)」に示すように，秋田県の医師数（令和２年末現在）は，２，４４４人であり，増加傾向にはあるが，人口１０万人当たりでは２５４．７人と，全国平均の２６９．２人を大きく下回っており，全国との格差は縮まっておらず，医師の絶対数の確保が必要となっている。

また，医師の地域偏在に関しても，県庁所在地のある秋田周辺医療圏の人口１０万人当たり医師数は３３３．２人となっているのに対して，北秋田医療圏（県北部）や湯沢・雄勝医療圏（県南部）ではその３割程度にとどまり，地域における医師偏在化が顕著となっている。

さらに，人口減少，少子高齢化が急速に進行しており，深刻な医師不足は産科婦人科，小児科，外科等の特定の診療科のみならず，ほとんどの診療科で医師不足の非常事態に直面している。

こうした中，秋田大学医学部医学科は，秋田県内の医師定着率向上を目的に，平成１８年度から従来の入学定員の枠内で秋田県地域枠５名を設けたのに続き，「新医師確保総合対策」や「緊急医師確保対策」等を踏まえ，入学定員について，同２０年度に１０名，同２１年度に５名，同２２年度に７名，同２３年度に３名，同２６年度に２名，同２７年度に２名の増員を図ってきた。これらの増員による入学者に対しては，秋田県と連携し，県からの奨学金を貸与（資料２）することとしている。

これらの臨時措置による増員計２９名は令和８年度限りで終了することになるが，これまでの取り組みで，県内における卒後臨床研修医数は毎年７０名前後（令和６年度：６３名），その後，引き続き大学を中心とした各科専門研修に進む医師は５０名程度（令和６年度：３９名）（全体の４割程度が地域枠）となっている。しかし，約２５診療科の多くが医師不足状態であるにもかかわらず，平均すると全県で各科の新専攻医は毎年１～２名程度しか増えていない。一方，専門医が学位取得後に秋田を離れるケースも少なくないのが現状であり，さらに医師の高齢化も進んでいるため多くの診療科で厳しい状況は続いているのが現状である。本県の場合，毎年の各科新専攻医のうち４割程度が地域枠であり，一定数の一般枠の人数がない

とさらに厳しい状況に陥る。このような状況で，地域を取り巻く各科の医師不足や偏在の解消のめどが立っていないことから，地域枠入学者数の維持を目的として，２９名全てについて，本申請により再度，令和９年度の定員増を行うものである。

【参考】

平成２０年度から地域枠による増員を開始し、令和８年度までに４６２名の地域枠学生を確保してきた。令和８年５月の時点で，そのうち約２４０名が，初期研修医・各科専門専攻医等として県内地域医療に貢献している。

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

①大学と県内各地域医療機関が一体となって地域医療・プライマリケア学習を充実させた教育課程

入学者の定員増に伴い，地域枠入学者を含む全ての入学者に対し平成２０年度より，入学直後からの医療面接・臨床推論・医療行動科学を中心とするプライマリケア教育を通年開始し，その評価として７月に OSCE を行った上で，２学期に県内地域医療機関及び学内における早期地域医療実習を実施してきた。さらに，５年次９月末から行われてきた２週間の地域医療実習を令和元年度から３週間に拡大するとともに，その後６年次夏までの４週間ごとの選択実習においても，全期間で県内各地域医療機関での診療参加型臨床実習を行う予定となっている。集大成としての卒業時のパフォーマンス評価は，医療面接・臨床推論３課題に加え，各診療科のプライマリケア１３課題（計１６課題）の診療参加型臨床実習後（PCC）－OSCE を行っている。このように大学と県内地域医療機関が一体化して理想的な卒前教育を目指した展開は『秋田モデル』と称されており，令和９年度以降も引き続き実施し，その内容を充実させていく予定になっている。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

①シミュレーション教育センター

キャンパス内には東日本で最大規模のシミュレーション教育センターが設置されており，学生・学内教員のみならず県内医療機関の医療従事者にも開放し，高機能シミュレーターを用いた実技トレーニングを通して高度な手技修得を行えるよう整備している。

②県内医療機関等との連携体制

学生が県内の医療機関においてスムーズかつ効果的な臨床実習を行えるよう，本学と県内の医療機関とで「秋田大学関連病院協議会」を組織しているほか，秋田県医師会とは秋田県病院協会，秋田県とともに「四者懇談会」を毎年開催するなど，四位一体の連携体制を構築して全面的なバックアップを頂いている。

③様々な教育手法に基づく統合型カリキュラム

初年次からの英語による医療面接実習，学生用 Web システム，e-Learning，心エコー

腹部エコーOSCE 等，新たな教育手法の開発や実践に積極的に取り組むことで，１年次から６年次までをモチベーション高く，系統立てて繋ぐ統合型カリキュラムを構築している。

④総合臨床教育研修センター

県内一体化した卒前教育にシームレスにつながる形で，卒業後は総合臨床教育研修センターを中心に，初期臨床研修，更には専門医取得や学位取得までをスムーズにサポートする体制を整えている。

（ウ）教員組織の変更内容

①あきた医師総合支援センター

平成２５年４月，秋田県からの委託事業として医学部附属病院内に開設した「あきた医師総合支援センター」では，地元・秋田の医療を支えている医師やこれから支えてゆく研修医・医学生を幅広くサポートすることを目的としており，専門医資格の取得やキャリアアップの方法などについて先輩医師が親身になって相談を受けたり，女性医師のキャリア形成支援や育児・介護相談まで，幅広く県内の医師の定着，増加に向けた活動を継続的に担っている。

本センターでは，奨学金の貸与を受けた医学生や大学院生，研修医のキャリア形成のための相談や支援も行っている。知事が指定する４年間は，医師不足がより顕著な秋田市以外の２次医療圏の病院での勤務が義務となっており，各科プログラム責任者（診療科長）とあきた医師総合支援センターが，適宜，相談してコーディネートしている。

（エ）大学全体の施設･設備の変更内容

秋田大学全体の施設・設備については，令和９年度以降も学修に支障を来す変更は予定されておらず，医学部医学科においても良好な環境の整備・維持に努めていく。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料１：秋田県医師確保計画（抜粋）

資料２：修学資金・研修資金制度の概要

資料３：令和９年度医学部入学定員増員計画の写し

資料４：別記様式第２号（その２の１）
　　教育課程等の概要

資料１：秋田県医師確保計画（抜粋）

令和６年３月

秋　田　県

第４節　秋田県の現状

１　県内の医師数の推移

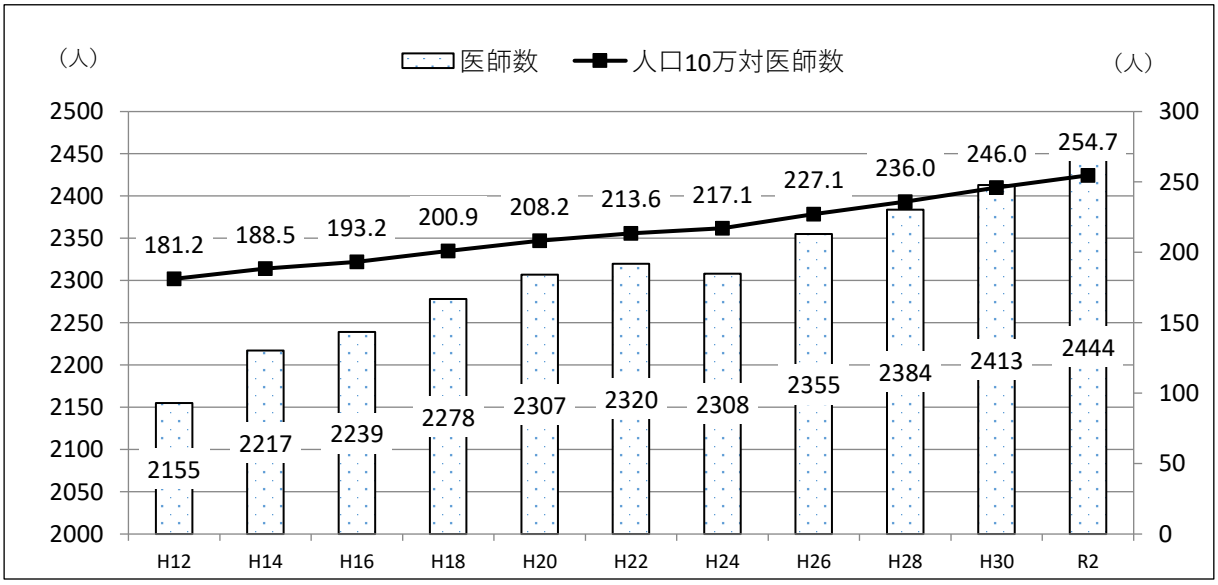
本県の医師数は、令和２年末現在で 2,444 人であり、増加傾向にはありますが、人口 10 万人当たりでは 254.7 人と、全国平均の 269.2 人を大きく下回っています。全国との格差はなかなか縮まっておらず、医師の絶対数の確保が必要となっています。

少子高齢化が急速に進んでいる本県においては、産婦人科、小児科、麻酔科等の特定の診療科のみならず、内科、整形外科、外科、眼科をはじめ、ほぼ全ての診療科で、医師不足となっています。

表　1-1　医師数の推移　　（単位:人）

区分	秋田県		全国（人口 10 万対）	対全国平均（%）
	医師数	人口 10 万対		
平成 12 年末	2,155	181.2	201.5	89.9
14 年末	2,217	188.5	206.1	91.5
16 年末	2,239	193.2	211.7	91.3
18 年末	2,278	200.9	217.5	92.4
20 年末	2,307	208.2	224.5	92.7
22 年末	2,320	213.6	230.4	92.7
24 年末	2,308	217.1	237.8	91.3
26 年末	2,355	227.1	244.9	92.7
28 年末	2,384	236.0	251.7	93.8
30 年末	2,413	246.0	258.8	95.1
令和２年末	2,444	254.7	269.2	94.6

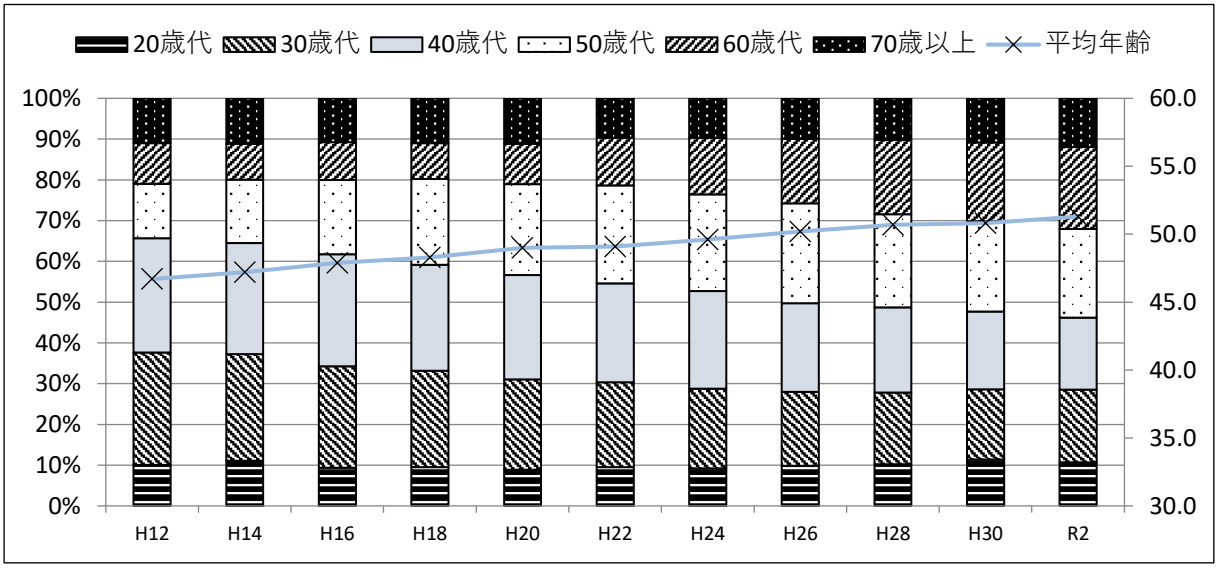
出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」



2　医師の年齢構成・平均年齢の推移

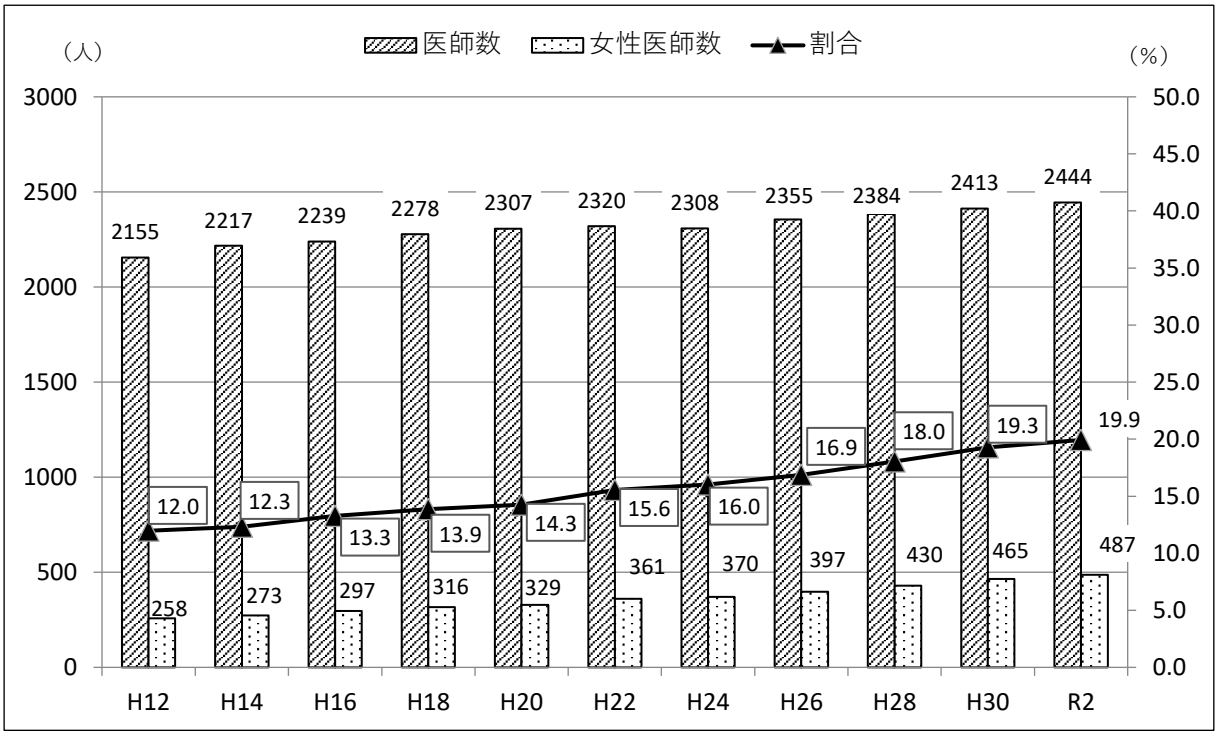
令和２年の県内医師の年齢構成のうち、60 歳代（20.1%）、50 歳代（21.7%）、40 歳代（17.7%）で全体の約２／３（59.5%）を占めています。

平均年齢は、平成 10 年以降上昇を続けており、令和２年は 51.3 歳（全国 50.5 歳）となりました。



3　女性医師数の推移

医師総数に占める女性医師の割合は年々上昇し、令和２年は 19.9%（全国 22.8%）となっています。



４　診療科ごとの医師数の推移

外科が、平成 12 年頃と比較すると 30 人程度少なく推移しているほか、小児科や産婦人科についても微減しています。

整形外科は増加傾向にあり、精神科、泌尿器科、皮膚科は、比較的増加割合が高くなっています。それ以外の科はほぼ同数となっています。

表 1-2　診療科別医師数(人）の推移

	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2	H12→R2
内科	814	825	823	810	808	833	822	827	821	810	835	102.6%
小児科	129	125	130	122	128	132	127	126	123	124	120	93.0%
精神科	125	140	146	138	152	152	147	153	149	154	158	126.4%
外科	235	233	220	221	219	204	209	205	208	219	205	87.2%
整形外科	154	163	163	152	157	159	160	165	165	168	177	114.9%
産婦人科	115	111	106	97	99	102	107	107	109	105	107	93.0%
皮膚科	46	48	52	48	48	45	49	50	52	55	58	126.1%
泌尿器科	69	72	71	74	73	75	76	77	77	83	85	123.2%
眼科	83	86	87	80	89	80	87	86	89	85	87	104.8%
脳神経外科	59	61	59	59	56	61	67	68	67	66	61	103.4%
耳鼻咽喉科	66	63	58	55	62	65	63	62	63	66	69	104.5%
リハビリテーション科	20	21	24	21	26	27	26	28	23	24	21	105.0%

出典：（厚生労働省）「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計）」

※診療科について、次のとおり整理集約して分類しています。

内科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科
精神科	精神科、心療内科
外科	外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、肛門外科
産婦人科	産婦人科、産科、婦人科

5　二次医療圏ごとの状況

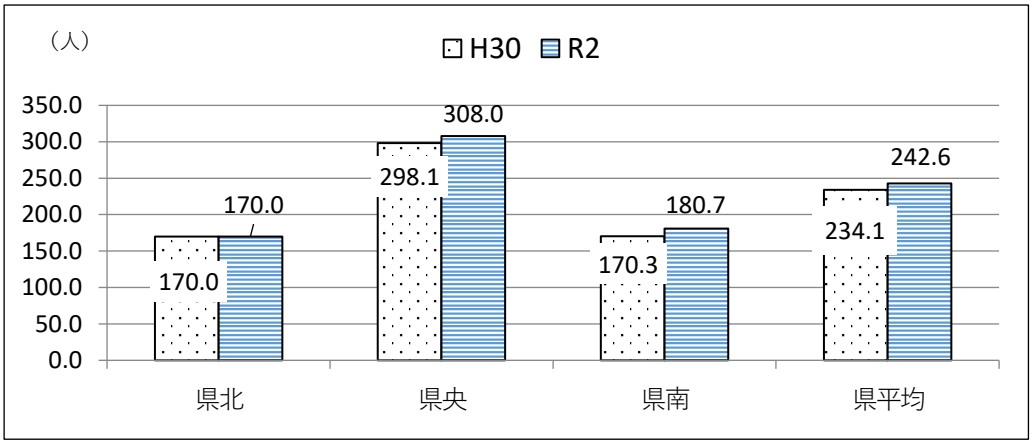
人口10万人当たりの医療施設従事医師数を医療圏別でみると、県央医療圏が308.0人と最も多く、最も低い県北医療圏では170.0人となっており、地域における医師偏在が顕著となっています。

また、平成30年と令和２年の数値を比較すると、県北医療圏の人口10万対医療施設従事医師数がほぼ横ばいですが、その他の二次医療圏では増加しています。

表1-3　二次医療圏の状況　　（単位:人）

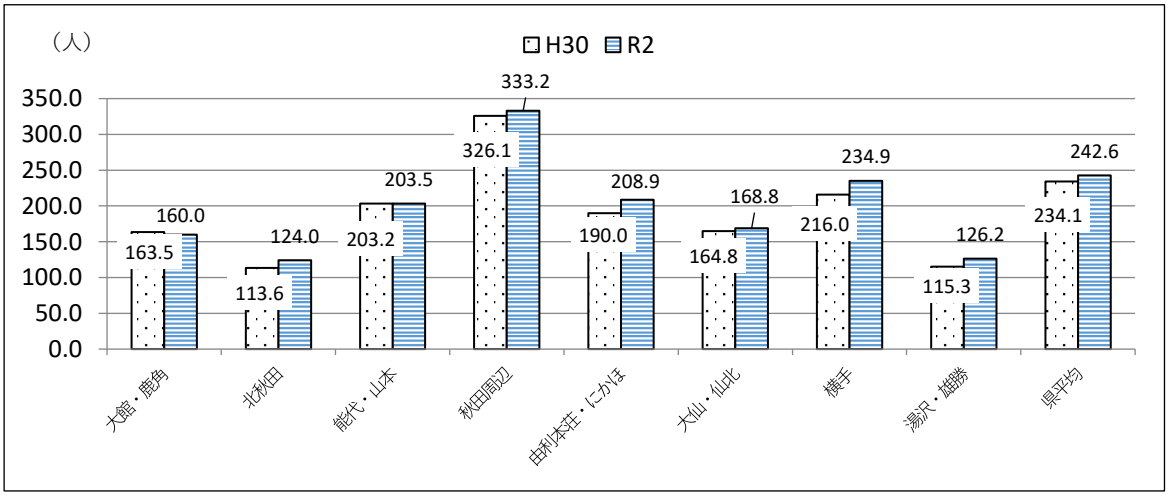
区　分	県北	県央	県南	全圏域
医療施設従事医師数	357	1,492	479	2,328
人口10万対	170.0	308.0	180.7	242.6

出典:「医師・歯科医師・薬剤師統計」（令和２年）



（参考：旧二次医療圏の状況）　　（単位:人）

区　分	大館・鹿角	北秋田	能代・山本	秋田周辺	由利本荘・にかほ	大仙・仙北	横手	湯沢・雄勝	全圏域
医療施設従事医師数	165	40	152	1,287	205	204	201	74	2,328
人口10万対	160.0	124.0	203.5	333.2	208.9	168.8	234.9	126.2	242.6

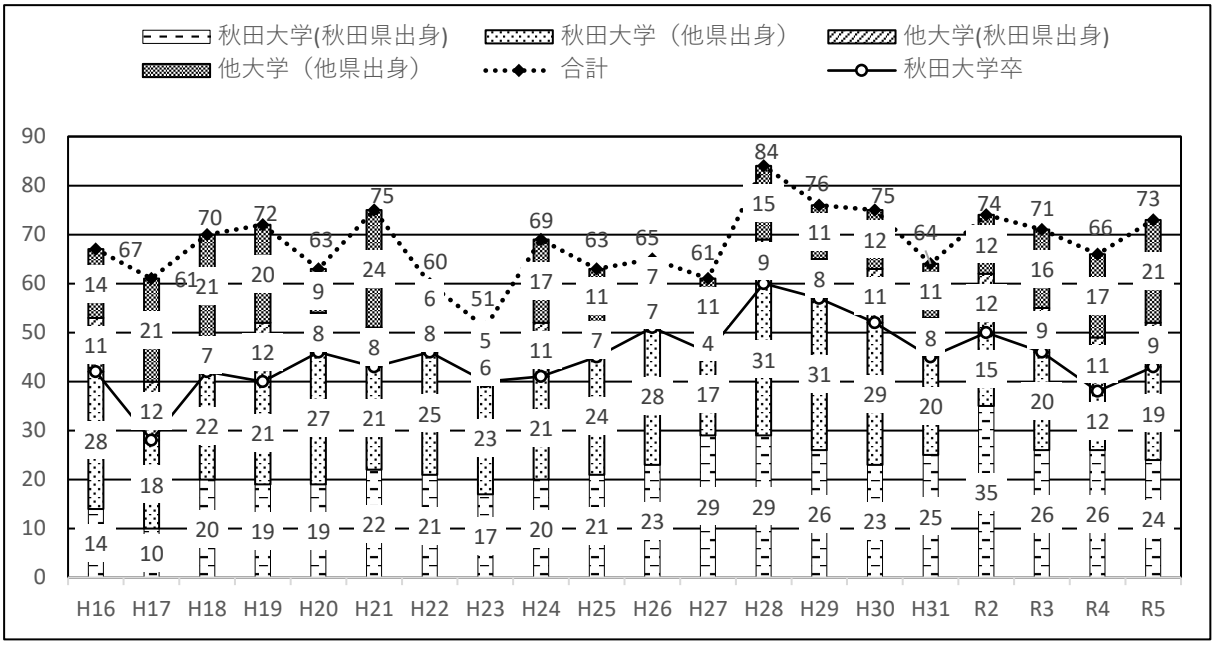


6　医師養成数等の状況

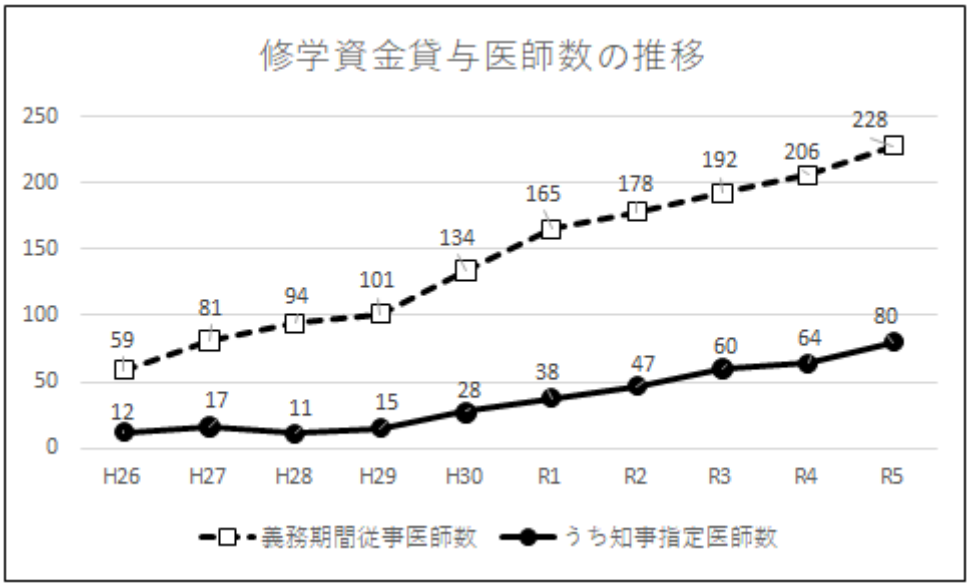
平成 16 年以降、秋田県内の臨床研修医採用数の平均は約 68 人で、最も多かったのは平成 28 年の 84 人、最も少なかったのは平成 23 年の 51 人です。

近年は、臨床研修医採用数の約６割から７割が秋田大学医学部出身者となっています。

令和５年は、73 人と前年度から７人増え、３年ぶりに前年度比で増加となりました。



県の修学資金の貸与を受け、義務期間として県内の医療機関で勤務する医師は年々増加しており、令和５年時点では 228 名となっています。知事指定医療機関で勤務する医師も徐々に増え始めており、令和５年時点で 80 名となりました。



第２節　医師少数区域・医師多数区域

医師偏在指標の下位 33.3%に属する医療圏を医師少数区域及び医師少数都道府県と定義し、医師少数区域に属する二次医療圏又は医師少数都道府県に属する都道府県がこれを脱することを繰り返し、全ての二次医療圏及び都道府県が令和 18 年度までに医療ニーズを満たすことを目指します（図 2-1）。

また、医師多数区域及び医師多数都道府県は、医師確保対策の遂行上の需給バランスの観点から、医師偏在指標の上位 33.3%に属する医療圏と定義されます。

第３節　本県における医師偏在指標の設定

本県に関する医師偏在指標、及び医師偏在指標算定に係る諸数値等は以下のとおりであり、県全体が医師少数県、県央医療圏を除く二次医療圏が医師少数区域、県央医療圏は医師多数区域に該当します。

１　本県の医師偏在指標算定に係る諸数値等

本県の医師偏在指標算定に関する「標準化医師数」及び「地域の人口（１０万人）×地域の標準化受療率比」は、次のとおりとなります。

表 2-1 医師偏在指標算定に係る諸数値等

医療圏名	標準化医師数（人）	医療施設従事医師数（人）	地域の人口（10万人）	標準化受療率比
全国（参考）	323,700	323,700	1,266.54	1.00
秋田県	2,334.3	2,328	9.71	1.21
県北	359.5	357	2.15	1.18
県央	1,483.8	1,492	4.85	1.26
県南	491.0	479	2.71	1.13

2　本県の医師偏在指標等

本県の医師偏在指標、区域の指定及び都道府県別又は二次医療圏別の全国順位は次のとおりとなります。

表 2-2 医師偏在指標及び区域の設定

医療圏名	医師偏在指標及び区域の指定		順位（位）
全国（参考）	255.6		
秋田県	199.4	医師少数県	４１／４７
県北	142.0	医師少数区域	３０６／３３０
県央	243.4	医師多数区域	８０／３３０
県南	159.6	医師少数区域	２６８／３３０

（参考　旧二次医療圏の医師偏在指標：二次医療圏変更前の暫定値）

医療圏名	医師偏在指標及び		順位（位）
全国（参考）	255.6		
秋田県	199.4	医師少数県	41／47
大館・鹿角	129.1	医師少数区域	327／335
北秋田	159.2	医師少数区域	271／335
能代・山本	155.5	医師少数区域	282／335
秋田周辺	261.3	医師多数区域	65／335
由利本荘・にかほ	173.2	医師少数区域	237／335
大仙・仙北	154.7	医師少数区域	284／335
横手	181.1		217／335
湯沢・雄勝	132.5	医師少数区域	322／335

資料2:修学資金制度の概要

	医　　学　　生		
	秋田大学 地域枠	東北医科 薬科大枠	岩手医科大学 地域枠
貸与対象者	・秋田大学医学生 ※地域枠合格者	・東北医科薬科大学医学生	・岩手医科大学医学生 ※秋田県地域枠合格者
貸与額	・月額１５万円 （自宅通学者は１０万円） ・入学料相当額２８万２千円 （１年生のみ）		・月額３０万円 ・入学料相当額加算無し
貸与期間	・大学卒業まで（最長６年間）		
返還免除要件			
勤務先	・大学卒業後、１年６月以内に医師免許を取得し、その後直ちに、県内の公的医療機関等に勤務 ・返還免除要件となる勤務期間のうちの半分を、知事が指定する公的医療機関等に勤務（平成２０年度以降、貸与開始者に限る） ・６年間貸与を受けた場合、返還免除要件となる勤務期間は９年間、知事が指定する公的医療機関等の勤務期間は４年間となる		
診療科	・限定なし		
勤務期間	・貸与期間の１．５倍の期間		
返還	・返還免除要件を満たさない場合、貸与額に年１０％の利息を付した額を、１年以内に月賦又は半年賦で返還		
返還猶予	・大学、大学院に在学しているとき ・災害や疾病、負傷によりやむを得ず医師の業務に従事できないとき		

資料３

令和９年度
医学部入学定員増員計画

秋大総第 １０２ 号
令和８年８月２１日

文部科学省高等教育局長　殿

国立大学法人秋田大学長
南　谷　佳　弘

「地域の医師確保等の観点からの令和９年度医学部入学定員の増加について（令和８年８月７日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	医学系研究科・医学部総務課　総括主査　笹村浩介
	TEL	０１８－８８４－６００６
	E-mail	k-sasamura@jimu.akita-u.ac.jp

学則の変更の趣旨ー16

大学名	国公私立
秋田大学	国立

１．現在（令和８年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
124	5	0	769

（収容定員計算用）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
（ア）入学定員	124	124	124	124	124	124	744
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	129	129	129	129	129	124	769

２．<u>本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和９年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員</u>

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	5	0	595

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	95	95	95	95	95	95	570
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	95	595
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

３．令和９年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
124	5	0	624

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	124	95	95	95	95	95	599
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	129	100	100	100	100	95	624
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	**29**

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	**29**
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	
計	**29**

学則の変更の趣旨－18

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	29

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	秋田県	29
大学所在地以外の都道府県		
計		29

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R7地域枠定員（※1）	R7貸与者数（※2）	R8地域枠定員（※1）	R8貸与者数（※2）	R7とR8の貸与者数のうち多い方の数
秋田県	29	29	29	29	29
					0
					0
					0
					0
					0
					0
計	29	29	29	29	29

（※1）臨時定員分のみご記入ください。

（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和９年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和７年度に実施した**地域枠学生（令和８年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	一般枠との併願	備考
地域枠	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	24	24	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志願理由書，小論文および面接の結果を総合して判定する。	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和7年3月以降に卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者 (2) 入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者 (3) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がＡ段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者	無		R6	併願不可	
地域枠	（ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	5	5	大学入学共通テストの成績，本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して判定する。	次のいずれかに該当する者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ア外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ文部科学大臣の指定した者 オ高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの カ本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの なお，医学部医学科後期日程の秋田県地域枠に出願する場合は，上記①から③のいずれかの出願資格に加えて，「秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）を卒業した者および令和８年3月卒業見込みの者」かつ「入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者」が出願要件となります。	無		R6	併願不可	
合計			29	29							

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

学則の変更の趣旨ー20

②**令和８年度に実施する**地域枠学生（令和９年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	一般枠との併願	備考
地域枠	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	24	24	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志願理由書，小論文および面接の結果を総合して判定する。	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年3月以降に卒業した者および令和９年3月卒業見込みの者 (2) 入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者 (3) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がＡ段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者	無		R6	併願不可	
地域枠	（ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	5	5	大学入学共通テストの成績，本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して判定する。	次のいずれかに該当する者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和９年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和９年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ア外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ文部科学大臣の指定した者 オ高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの カ本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの なお，医学部医学科後期日程の秋田県地域枠に出願する場合は，上記①から③のいずれかの出願資格に加えて，「秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）を卒業した者および令和９年3月卒業見込みの者」かつ「入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者」が出願要件となります。	無		R6	併願不可	
合計			29	29							

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和９年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

秋田大学医学部では、プライマリケアを担う診療能力の育成を目的に、段階的な教育を実施しています。 1年次は「初年次ゼミⅠ・Ⅱ『医学』」で医学の全体像を学び、「医療行動科学」で臨床推論や面接技法を修得。2年次は「地域医療・コミュニケーションとチーム医療」で実践力を養い、4年次は「総合診療・臨床検査」と診療参加型臨床実習（CC1）で診断力を強化します。 5年次には「秋田県研修病院実習」で地域医療連携を経験し、「地域医療実習」で包括ケアと多職種連携を学びます。 6年次も地域医療実習を継続し、総合的診療能力を深めます。	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和９年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成20年度から地域枠による増員を開始し、令和8年度までに452名の地域枠学生を確保し、上記の教育の取り組み（地域枠に特化せず、一般枠も含め全員に必修で行っている。）を行ってきた。令和8年5月の時点で、そのうち235名が、初期研修医・各科専門専攻医等として県内地域医療に貢献している。	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和８年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
１年次	初年次ゼミⅠ「医学」	全員	必修	必修	講義	1	H22
１年次	初年次ゼミⅡ「医学」	全員	必修	必修	講義	1	H22
１年次	医療行動科学	全員	必修	必修	実習	3	H22
２年次	地域医療・コミュニケーションとチーム医療	全員	必修	必修	講義	1	H22
４年次	総合診療・臨床検査	全員	必修	必修	講義	1	H30
５年次	秋田県研修病院実習	全員	必修	必修	実習	2	R1
５年次	地域医療実習	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
６年次	地域医療実習	全員	必修	必修	実習	2	R1

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和８年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
高校訪問講義	主な県内各地域の高校において医師を目指す高校生に対し最新の医学教育について入学前教育を毎年度実施している。これまで2,121名の参加があった。	H22
メディカルセミナー	医学科に興味がある県内高校生に対し、医学部における医学教育、臨床、研究、地域医療の魅力について、その実際を見学したり、実践的に学ぶセミナーを毎年度開催している。	H23

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

２．都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
秋田県	29	新入生	自宅通学者 10万円 自宅外通学者 15万円	748万2千円 1,108万2千円	・大学卒業後、1年6か月以内に医師免許を取得し、その後直ちに公的医療機関等に勤務すること。 ・県内の公的医療機関等の勤務期間が貸与期間の1.5倍に達すること。 ・返還免除要件となる勤務期間のうち、所定の期間は、知事が指定する医師少数区域等の公的医療機関等において医師の業務に従事すること。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	無		・総貸与額には、入学料相当額（28万2千円）を含む。一般選抜後期日程（地域枠）5人、学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）24人の入学試験の地域枠29人で選抜することとしており、秋田県の修学資金の貸与を受け、卒後一定期間、秋田県の公的医療機関等で医療に従事する強い意志を有する者を推薦要件とし、入試を実施している。

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
修学資金貸与学生向け説明会	修学資金制度への理解と卒後のキャリアパス形成等を支援するため，入学前，４年次，６年次に説明会を実施している。	H25
修学資金被貸与者の次年度勤務先等に関する説明会	修学資金被貸与医師の円滑なキャリア形成に向け、関係講座の教員を対象に、次年度の勤務先を検討する際の留意事項やキャリア形成プログラムについて説明会を実施している。	R1

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3．在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
修学資金貸与学生向け説明会	修学資金制度への理解と卒後のキャリアパス形成等を支援するため，入学前，４年次，６年次に説明会を実施している。	H25

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

４．その他

１～３に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

１．各地区医療機関の教育研修体制の充実、教育力向上のためにシミュレーション教育センターで県内医療機関の医師・看護師・医療従事者のための各種セミナーを開催している。また、センターの高性能シミュレーターを持参して県内医療機関で病棟単位などの救急セミナーを開催しており、今後も充実していく予定である。
２．大学と県内地域医療機関の指導医とe-ラーニングシステムを共有して、学生指導の評価や指導内容のネットワーク構築の準備をしている。

令和８年度

学校推薦型選抜学生募集要項

国立大学法人秋田大学
Akita University

学則の変更の趣旨ー24

学校推薦型選抜への出願について

1　**国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）への出願は，一つの大学・学部に限られています。**
ただし，一つの大学・学部の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程・専攻・コース等）について，大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜で不合格となった場合は，同一の学科・課程・専攻・コース等の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜に出願することができます。
したがって，本学の場合，教育文化学部の学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅰで不合格になった場合に，同一の学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

2　学校推薦型選抜で不合格となった場合に備えて，本学または他の国公立大学・学部の一般選抜等（前期日程から一つ，中期日程から一つ，および後期日程から一つの合計三つの大学・学部）に出願しておくことは，差し支えありません。
なお，本学の一般選抜に出願する場合は，大学入学共通テストの受験を要する教科・科目などに学校推薦型選抜と違いがありますので，別途「令和８年度一般選抜学生募集要項」等で必ず確認してください。

3　本学の学校推薦型選抜実施学部・学科・課程等および日程
1）学校推薦型選抜を実施する学部・学科・課程等

○学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さないもの）

実施学部	学科・課程	コース
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース，有機・高分子化学コース，応用化学コース
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース，機能デバイス物理コース
	社会システム工学科	モビリティコース，電気システムコース，社会基盤コース

○学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課すもの）

実施学部	学科・課程	専攻・コース
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース，資源地球科学コース，資源開発環境コース
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース，こども発達コース
	地域文化学科	
医学部	医学科	

2）学校推薦型選抜実施日程

区分	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ
出願期間	令和７年11月４日（火） ～ 令和７年11月11日（火）	令和７年12月10日（水） ～ 令和７年12月16日（火）
試験日	令和７年11月22日（土）	令和８年１月22日（木）【医学部医学科】 令和８年１月23日（金）【国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科】 （医学部医学科の一般枠は22日(木)のみ）
合格者発表	令和７年12月５日（金）	令和８年２月11日（水）
入学手続期間	令和７年12月12日（金） ～ 令和７年12月15日（月）	令和８年２月17日（火） ～ 令和８年２月18日（水）

入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し，また，入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが，これらの個人情報は，下記の目的で利用します。
【利用目的】
○　入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
○　入学手続完了者にあっては，入学後の学籍管理，学習指導，学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。
○　国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うために，学校推薦型選抜の合格および入学手続等に関する個人情報（氏名，性別，生年月日，高等学校等コードおよび大学入学共通テストの受験番号）を，大学入試センターおよび併願先の国公立大に通知します。

学則の変更の趣旨ー25

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では，豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い，医学・健康科学に対する充分な理解のもとに，人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1．病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2．医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3．素直で協調性に富み，周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

[医学科]

●求める人物像

1．地域医療への理解と共感を有し，将来の医師としての強い倫理観を持ち，住民の健康・福祉に寄与できる人
2．基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち，国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3．大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち，生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
英　　語－国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
数　　学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力
地歴・公民－将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養
理　　科－「生物」，「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
情　　報－各高校の教育課程で学ぶ情報科目（例えば，「情報Ⅰ」など）の理解に基づく基本的な情報活用能力
そ　の　他－ストレスに負けない体力と精神力，周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業その他に優れた成績を修め，感性豊かな人間性を持ち，他者に対するいたわりと共感する心を有するとともに，医療・医学への研究志向を有する知的好奇心に満ちた学生を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性･多様性･協働性」「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価します。

東北地域枠による選抜については，卒業後に秋田大学医学部附属病院および秋田県内

の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

秋田県地域枠による選抜については，秋田県修学資金受給の意思，卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）		将来性
				関心・意欲・態度	協働性	
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○			
	小論文	○	○	○		
	面接		○	○	○	○
	推薦書			○	○	○
	調査書			○	○	○

学則の変更の趣旨ー27

1　募集人員（学校推薦型選抜Ⅱ）

学部	学科・課程・コース・枠等			募集人員
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース		3人
		資源地球科学コース		4人
		資源開発環境コース		5人
	小計			12人
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	一般型	19人
			英語型	
			理数型	
		こども発達コース		6人
	地域文化学科			18人
	小計			43人
医学部	医学科	一般枠		20人
		地域枠	東北地域枠	10人
			秋田県地域枠	(※)
	小計			30人(※)
合計				85人(※)

※　医学科秋田県地域枠の募集人員は決定次第ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

2　推薦の要件

国際資源学部

学科・コース		推薦の要件
国際資源学科	資源政策コース	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年３月卒業見込みの者（令和７年度の途中に卒業を認められる者を含む。） ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和８年３月修了見込みの者（令和７年度の途中に修了を認められる者を含む。） (2)　(1)の学校における学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
	資源地球科学コース	
	資源開発環境コース	

学則の変更の趣旨ー28

医学部

学科・枠			推薦の要件
医学科	一般枠		次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年３月卒業見込みの者（令和７年度の途中に卒業を認められた者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和８年３月修了見込みの者（令和７年度の途中に修了を認められた者を含む。） (2) 調査書の学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）に属する者のうち，本学科への入学に固い意志を持ち，特に医学の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者で，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
	地域枠＊以下必読	東北地域枠	次の(1)から(6)の要件すべてに該当する者 (1) 次にあげる地域の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和７年３月以降に卒業した者および令和８年３月卒業見込みの者 ［青森県，岩手県，宮城県，山形県，福島県］ (2) 大学卒業後，次にあげるⅰ）ーⅲ）を確約できる者 ⅰ） 秋田県内の研修指定病院で２年間の臨床研修（初期研修）に従事すること ⅱ） 臨床研修修了後，秋田大学の専門研修プログラムにおいて大学病院を含む秋田県内医療機関での専門研修を行い専門医資格を取得すること ⅲ） 臨床研修修了後，少なくとも５年間，秋田県内の研修指定病院で勤務すること (3) 「同意書（東北地域枠）」を提出する者 (4) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (5) 調査書の学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が 4.3 以上）の者 (6) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		秋田県地域枠	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和７年３月以降に卒業した者および令和８年３月卒業見込みの者 (2) 入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者 (3) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が 4.3 以上）の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

＊【医学部医学科：東北地域枠に関する事項】
秋田県内の研修指定病院については以下の URL から確認してください。
https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/student/hospital

秋田の医療情報
みてたんせ
QR コード

＊【医学部医学科：秋田県地域枠に関する事項】
秋田県地域枠の出願にあたっては，「秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム」を必読し，秋田県医学生修学資金制度を理解のうえ，出願してください。

秋田県医学生修学資金について
ＵＲＬ　https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/study-funding/student
あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報、みてたんせ」
＞秋田県の修学資金制度＞医学生向け修学資金＞秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム
問合せ先：秋田県医療人材対策室　電話番号 018-860-1410

学則の変更の趣旨ー29

実技検査の内容

教育文化学部　学校教育課程　初等中等教育コース　一般型

【音楽】
実技の内容：１～３のジャンルから２つを選択し，演奏する。
１．ピアノ（任意の楽曲を選び，暗譜で演奏）
２．声楽（以下の４曲から１曲を選び，原語および暗譜で演奏）
ａ．大中寅二作曲　椰子の実　イ長調（２番まで）
ｂ．A. スカルラッティ作曲　Se tu della mia morte　ヘ短調
ｃ．F. ガスパリーニ作曲　Caro laccio　変ホ長調
ｄ．G. パイジェッロ作曲　Nel cor più non mi sento　ヘ長調
※　伴奏は本学教員が担当します。伴奏譜は本学で用意します。

３．管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器
（１つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏）
※　無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。
なお，楽譜には楽器名を記載し，学校推薦型選抜Ⅱと明記してください。
使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバ（Ｃスケール，４オクターヴ）は大学で用意します。
管楽器・・・フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ
弦楽器・・・ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器・・・マリンバ
和楽器・・・三味線，箏，尺八

【美術】
実技の内容：基礎的な立体および平面の造形（３時間）
※　実技検査に必要なものは本学で用意します。

医学部

学科・専攻等		実施教科等		受験を要する教科等
		教科等	採点・評価の観点，基準等	
医学科	一般枠	小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし，それに対して論述させ，理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文および面接
		面接	調査書を参考に，医師としての適性，即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考，医師としての倫理性，社会への関心度，積極性・意欲・将来性等について評価します。（集団面接）	
	東北地域枠 秋田県地域枠	小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし，それに対して論述させ，理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文および面接
		面接	調査書を参考に，地域医療に貢献する強い意欲，医師としての適性，即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考，医師としての倫理性，社会への関心度，積極性・意欲・将来性等について評価します。（個別面接）	

大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志願理由書，小論文および面接の結果を総合して判定します。

学則の変更の趣旨－30

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

〔医学部〕

教科・科目 ＼ 学部・学科		パターン	受験を要する教科・科目名																						
			国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
			国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
医学部	医学科		◎	○	○	○	×	○	○	×	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。

〔医学部における注意事項〕

ア　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史，公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

イ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

学則の変更の趣旨－31

(3) 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点【学校推薦型選抜Ⅱ】

学部・学科・課程等				試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	実技検査	小論文	面接	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース		大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)		200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				750	1150
				個別学力検査等									400	400	
		資源地球科学コース		大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				1050	1400
				個別学力検査等									350	350	
		資源開発環境コース		大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				1050	1400
				個別学力検査等									350	350	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	一般型	大学入学共通テスト	200×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	200×7/9×1	50 (100×0.5×1)				750	1050
				個別学力検査等							＃200	＃200	100	300	
			英語型	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	300 (200×1.5×1)	50 (100×0.5×1)				750	1050
				個別学力検査等									300	300	
			理数型	大学入学共通テスト	200×7/9×1	100×7/9×1	100×7/9×2	100×7/9×2	200×7/9×1	50 (100×0.5×1)				750	1050
				個別学力検査等									300	300	
		こども発達コース		大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	100 (200×0.5×1)	20 (100×0.2×1)				470	770
				個別学力検査等								200	100	300	
	地域文化学科			大学入学共通テスト	＃100 (200×0.5×1)				＃100 (200×0.5×1)					100	500
				個別学力検査等								200	200	400	
医学部	医学科			大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)				500	750
				個別学力検査等								100	150	250	

注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注2：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合／歴史総合／公共」の素点は，この中から2つ選択で100点とします。
注3：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注4：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注5：教育文化学部の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注6：教育文化学部学校教育課程初等中等教育コース一般型の個別学力検査等欄の＃印は，1科目等を選択するものです。
注7：教育文化学部地域文化学科の大学入学共通テスト欄の＃印はどちらかの1教科を指定するものですが，2教科とも受験した場合は，高得点の教科を合格判定に用います。

(4) 合格者の決定方法

学部等	合格者の決定方法
国際資源学部	1　大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の総合点に基づいて合格者を決めます。 2　総合点が同点の場合は同順位として取り扱います。 3　欠員が生じた場合は，前期日程試験あるいは後期日程試験で補充します。
教育文化学部	1　大学入学共通テストと個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。ただし，大学入学共通テストの合格判定に用いる科目と個別学力検査等に無得点の科目がある場合は，合計点にかかわらず合格者としません。 なお，合計点が同点の場合は同順位として取り扱います。 2　次の課程・学科では，個別学力検査等のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は，合計点にかかわらず合格者としません。

課程・学科・コース等	指定科目（基準点：総点の4割）
学校教育課程・初等中等教育コース・一般型	小論文（80点），実技検査（80点），面接（40点）
学校教育課程・初等中等教育コース・英語型	面接（120点）
学校教育課程・初等中等教育コース・理数型	面接（120点）
学校教育課程・こども発達コース	小論文（80点），面接（40点）
地域文化学科	小論文（80点），面接（80点）

学部等	合格者の決定方法
医学部 医学科	1　大学入学共通テストと個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。 2　面接における評価において，「不可」と判断された場合は，総合点にかかわらず合格者としません。 3　秋田県地域枠の選抜においては，僻地医療を含む地域医療に貢献する意欲等を勘案して総合的に判定します。 4　東北地域枠の選抜においては，地域医療に貢献する意欲等を勘案して総合的に判定します。

学則の変更の趣旨ー32

4　試験の日程

学部等			試験日	集合時刻	小論文	面接	実技検査および面接
国際資源学部	国際資源学科		令和８年１月23日（金）	8:30	—	9:00 ～ 17:00	—
教育文化学部	実技検査選択者		令和８年１月23日（金）	8:30	—	—	9:00 ～ 18:00
	初等中等教育コース英語型および理数型			8:30	—	9:00 ～ 17:00	—
	上記以外の者			8:30	9:00 ～ 10:00	10:30 ～ 18:00	—
医学部	医学科	一般枠	令和８年１月22日（木）	8:30	9:00 ～ 11:00	11:30 ～ 18:00	—
		東北地域枠および秋田県地域枠	令和８年１月22日（木）	8:30	9:00 ～ 11:00	—	—
			令和８年１月23日（金）	8:30	—	9:00 ～ 18:00	—

注：面接の終了時刻は，受験者数により変わる場合があります。

5　試験場

学部	試験場
国際資源学部	秋田大学国際資源学部試験場（手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号）
教育文化学部	秋田大学教育文化学部試験場（手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号）
医学部	秋田大学医学部試験場（本道キャンパス：秋田市本道一丁目１の１）

6　受験上の注意事項

① 試験当日は，**「令和８年度秋田大学受験票」**および**「令和８年度大学入学共通テスト受験票」**を忘れずに必ず持参してください。なお，試験室棟に入る際には，両方の受験票を係員に提示してください。また，試験時間中は両方の受験票を机の上に置いてください。

② 試験当日は，受験者は８時 10 分から試験室棟へ入ることができます。

③ 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後 10 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。

④ 試験時間中の答案提出は認めません。

⑤ 小論文の試験室では，受験票，黒鉛筆，鉛筆キャップ，シャープペンシル，消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。），定規，時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く），目薬，眼鏡，ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）以外のものは，机の上に置くことはできません。

⑥ 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類を持参した場合は，試験室棟に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中，かばん等にしまわずに，身につけていたり手に持っていた場合は，不正行為となることがあります。

⑦ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められず，個別学力検査等の受験は失格となります。
不正行為に該当する行為は，令和８年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内に記された不正行為の内容に準じます。また，状況により警察へ被害届を提出する場合があります。

⑧ 試験場・試験室において，他の受験者の迷惑になる行為は行わないでください。

⑨ 試験場の下見は，試験前日の 13 時から 17 時までの間に行ってください。なお，下見は試験室棟入口までとし，試験室棟には入れません。

⑩ 試験前日および試験当日は，受験者および付添者の車両による入構を禁止します。なお，試験当日，試験場には，受験者および付添者の控室を設けています。

⑪ 受験者（特に遠隔地からの者）は，**荒天等による交通機関の乱れを考慮し**，前日までに秋田市内に到着する等ゆとりをもった日程を組むほか，衣類・履物等にも留意してください。

⑫ 本道キャンパス（医学部）は附属病院に隣接していることから感染対策のため，マスクの着用をお願いしております。受験者本人ならびに付添者の方もマスクの着用をお願いいたします。特別な事情等によりマスクを着用することができない場合は，事前に入試課（℡ 018-889-2256）へご連絡願います。また，手形地区（国際資源学部，教育文化学部）で受験する方で試験当日に体調の悪い方，家族や身近に感染症に罹患している人がいる方などは，感染対策としてマスクの着用を推奨いたします。

学則の変更の趣旨ー33

令和８年度

一般選抜学生募集要項

国立大学法人 秋田大学
Akita University

令和８年度秋田大学一般選抜日程

大学入学共通テスト　　令和８年１月１７日(土)・１８日(日)

(追試験　令和８年１月２４日(土)・２５日(日))

一般選抜出願期間（前期日程・後期日程）　令和８年１月２６日(月)～２月４日(水)

インターネット出願サイトで手続きを行い，印刷した書類および調査書等を，原則として郵送により送付してください。（２月４日必着）
インターネット出願サイトは，１月23日（金）10時から登録が可能となります。

２段階選抜における第１段階選抜の結果発表（医学部医学科のみ対象）	２月１１日(水)

前期日程	試　験　日	２月２５日(水)・２６日(木)	２５日全学部で実施。教育文化学部初等中等教育コースの実技検査受験者と医学部医学科受験者のみ２日間
	合格者発表	３月　７日(土)	
	入学手続	３月１４日(土)・１５日(日)	
後期日程	試　験　日	３月１２日(木)	
	合格者発表	３月２１日(土)	
	入学手続	３月２６日(木)・２７日(金)	
追加合格者の決定・入学手続		３月２８日(土) から	

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では，豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い，医学・健康科学に対する充分な理解のもとに，人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1．病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2．医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3．素直で協調性に富み，周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

[医学科]

●求める人物像

1．地域医療への理解と共感を有し，将来の医師としての強い倫理観を持ち，住民の健康・福祉に寄与できる人
2．基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち，国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3．大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち，生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
英　　語－国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
数　　学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力
地歴・公民－将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養
理　　科－「生物」，「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
情　　報－各高校の教育課程で学ぶ情報科目（例えば，「情報Ⅰ」など）の理解に基づく基本的な情報活用能力
そ　の　他－ストレスに負けない体力と精神力，周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

論理的思考能力と国際性に優れ，医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に，地域医療への理解，医学に対する知的関心と学習意欲，社会貢献への意欲を有する学生を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で英語および数学の２教科と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

幅広い人間的視野を備え，人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性，資質，意欲を備えた人材を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価します。
秋田県地域枠による選抜については，秋田県修学資金受給の意思，卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）		将来性
				関心・意欲・態度	協働性	
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○			
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書			○	○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○			
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書			○	○	○

学則の変更の趣旨－36

Ⅰ　募集人員

学部・学科・課程 専攻・コース			入学定員	募集人員									
				一般選抜		総合型選抜			学校推薦型選抜		私費外国人留学生入試	渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試	外国人留学生特別入試	国際バカロレア入試
				前期日程	後期日程	Ⅰ 出願資格A	Ⅰ 出願資格B	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ				
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	120	20	6	4		－	－	3	5	－	5	注6 若干名
		資源地球科学コース		20	5	5		－	－	4				
		資源開発環境コース		24	7	7		－	－	5				
	計		120	64	18	16		－	－	12	5		5	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	110	38	14	－		－	4	19	注6 若干名	－	－	注6 若干名
		特別支援教育コース		12	3	－		－	－	－				
		こども発達コース		10	4	－		－	－	6				
		小計	110	60	21	－		－	4	25				
	地域文化学科		80	46	8	8		－	－	18				
	計		190	106	29	8		－	4	43				
医学部	医学科		124	注1 45	注2 25	－		－	－	注3 54	注1 若干名	－	－	－
	保健学科	看護学専攻	106	30	5	－		35	－	－	注6 若干名			
		理学療法学専攻		8	2	－		8	－	－				
		作業療法学専攻		8	2	－		8	－	－				
		小計	106	46	9	－		51	－	－				
	計		230	91	34	－		51	－	54				
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース	100	注4 a 33 b 27	12	注5 13	注5 4	－	注5 3	－	注5 8	注6 若干名	－	注6 若干名
		有機・高分子化学コース												
		応用化学コース												
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	90	注4 a 28 b 22	16	4	－	－	3	－	5			
		機能デバイス物理コース				3	2	－	3	－	4			
	社会システム工学科	モビリティコース	125	注4 a 34 b 34	20	5	5	－	2	－	6			
		電気システムコース				2	3	－	2	－	2			
		社会基盤コース				3	3	－	2	－	2			
	計		315	注5 178	注5 48	30	17	－	15	－	27			
情報データ科学部	情報データ科学科		100	注4 a 35 (文系・理系) b 25	10	20		10	－	－	注6 若干名	－	－	注6 若干名
合計			955	499	139	91		61	19	109	32		5	

注１：医学部医学科の一般選抜前期日程の募集人員には，私費外国人留学生入試の募集人員（若干名）を含みます。
注２：25人のうち一般枠20人，秋田県地域枠5人となります。
注３：54人のうち一般枠20人，東北地域枠10人，秋田県地域枠24人となります。
注４：ａとｂでは大学入学共通テストと個別学力検査の配点が異なります。配点については37ページを参照してください。
注５：総合環境理工学部一般選抜（前期日程・後期日程）で合格した入学者および総合環境理工学部応用化学生物学科への入学者は，入学した学科内の一つのコースへの配属を２年次後期に決定します。
注６：入学定員には，若干名と記載のある募集人員を含みます。

Ⅱ　一般選抜

1　出願資格

次のいずれかに該当する者

①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者

②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者

③　学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア　外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ　文部科学大臣の指定した者

オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの

カ　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの

＊　③のカによる出願は，本学において個別の入学資格審査を要するので，54ページを参照のうえ，申請してください。

なお，医学部医学科後期日程の秋田県地域枠に出願する場合は，上記①から③のいずれかの出願資格に加えて，「**秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）**を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者」かつ「入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者」が出願要件となります。

＊【医学部医学科：秋田県地域枠に関する事項】
秋田県地域枠の出願にあたっては，「秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム」を必読し，秋田県医学生修学資金制度を理解のうえ，出願してください。

秋田県医学生修学資金について
URL：https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/study-funding/student
あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報，みてたんせ」
＞秋田県の修学資金制度＞医学生向け修学資金＞秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム
問合せ先　：　秋田県医療人材対策室　　電話番号　018－860－1410

秋田の医療情報みてたんせ QRコード

2　入学者選抜方法等

(1) 選抜方法

大学入学共通テストの成績，本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して判定します。

なお，**令和８年度大学入学共通テストにおいて，志望する学科，課程，専攻，コースの課す教科・科目のすべてを受験していない場合は出願しないでください。また，志望する学科，課程，専攻，コースの課す個別学力検査等の教科・科目等をすべて受けなければ合格者となりえません。**

（大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しません。必ず，令和８年度大学入学共通テストを受験してください。）

学則の変更の趣旨－38

(2) ２段階選抜

医学部医学科において，入学志願者が前期日程の募集人員（45名）の５倍，後期日程の一般枠，秋田県地域枠，それぞれの募集人員（一般枠20名，秋田県地域枠５名）の10倍を超えた場合，大学入学共通テストの成績（６教科８科目の素点計。）により第１段階選抜を行うことがあります。

前期日程・後期日程ともに，**令和8年2月11日（水）14時以降に本学ホームページ**で次のとおりお知らせします。

① 第１段階選抜を実施した場合は，ホームページに実施した旨を掲載します。
また，合格者には，インターネット出願時に登録したメールアドレスに「合格通知および受験票印刷可能通知メール」を，不合格者には「不合格通知メール」を送付します。なお，不合格者はメールに記載の内容に従って入学検定料返還手続を行ってください。

② 第１段階選抜を実施しなかった場合は，本学ホームページに実施しなかった旨を掲載します。46ページ「(6)受験票の印刷」の通知に従って受験票を印刷してください。
なお，第１段階選抜実施結果（合否）に関する電話の問い合わせには応じません。
また，第１段階選抜を実施した場合で2月13日（金）までに①の通知が届かない場合は，秋田大学入試課（電話018-889-2256）へ問い合わせてください。

(3) 受験方式の選択

総合環境理工学部の前期日程においては，a，b の方式を設け，それぞれの方式で募集します。

また，情報データ科学部の前期日程においては，文系 a，理系 a，理系 b の方式を設けますが，文系 a と理系 a は同一の募集単位となります。

各方式毎に配点が異なりますので，37 ページを参照してください。

出願時にいずれかの方式を選択してください。出願後の変更はできません。

(4) 第２志望

国際資源学部および総合環境理工学部において，学部内に限り以下のとおり第２志望を認めます。
（第１志望：国際資源学部，第２志望：総合環境理工学部といった別の学部を志望することはできません）

【国際資源学部】

国際資源学部の資源地球科学コースと資源開発環境コースは前期日程・後期日程とも第２志望を認めます。

なお，第１志望で資源政策コースを志望する者は，第２志望を選択することはできません。資源地球科学コースまたは資源開発環境コースを第１志望とする者は，第２志望として資源政策コースを選択することはできません。

○は，第2志望とすることができるコース

第1志望とするコース ＼ 第2志望とするコース		前期日程 国際資源学科 資源政策コース	前期日程 国際資源学科 資源地球科学コース	前期日程 国際資源学科 資源開発環境コース	後期日程 国際資源学科 資源政策コース	後期日程 国際資源学科 資源地球科学コース	後期日程 国際資源学科 資源開発環境コース
国際資源学科	資源政策コース		×	×		×	×
	資源地球科学コース	×		○	×		○
	資源開発環境コース	×	○		×	○	

【総合環境理工学部】

・前期日程において，第２志望は，a，b それぞれの方式内でのみ全学科で認めます。
ただし，応用化学生物学科の個別学力検査で「生物」を選択する者にあっては，第２志望は認められません。

・後期日程において，第２志望は，全学科で認めます。

学則の変更の趣旨ー39

〔医学部〕

学部・学科・専攻	日程	パターン	受験を要する教科・科目名																							
			国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
			国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
医学部 医学科	前期		◎	○	○	○	×	○	○	×	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
	後期		1	1							1		1					2				1					1
保健学科 看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	前期 後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1	2				1				1					1
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1					2				1					1
		③	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
			1	2							1		1	2								1					1
		④	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			1	2							1		1					1				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。

〔医学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目」を選択することができます。なお，医学部においては「地学基礎」，「地学」を選択することはできません。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

学則の変更の趣旨ー40

(6) 個別学力検査等の実施教科・科目等

【前期日程】

学部・学科・課程 専攻・コース			実施教科等		出題科目および範囲，採点・評価の観点，基準等	受験を要する教科等
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	国語		現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）	2教科
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（英語資格等の活用制度あり。39ページ参照）	
		資源地球科学コース 資源開発環境コース	数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	3教科（理科は，物理，化学，生物，地学から1科目選択）
			理科	(物理)	物理基礎，物理	
				(化学)	化学基礎，化学	
				(生物)	生物基礎，生物	
				(地学)	地学基礎，地学	
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（英語資格等の活用制度あり。39ページ参照）	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース 一般型	国語		現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）	4教科等（実技検査を含む。）から2教科等選択
			数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C	
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	
			実技検査		34ページ参照	
		初等中等教育コース 英語型	国語		現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）	2教科と小論文および面接
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（スピーキングを含みます。）	
			小論文		教員の資質形成の基礎となる論理的思考能力および英語運用能力を英語によるライティングテストを通してみます。	
			面接		多様な人々と協働して学ぶ態度および英語教育を追究する意欲および適性を，日本語による面接を通してみます。	
		初等中等教育コース 理数型	数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	2教科から1教科選択（理科選択の場合は，物理，化学，生物，地学から1科目選択）
			理科	(物理)	物理基礎，物理	
				(化学)	化学基礎，化学	
				(生物)	生物基礎，生物	
				(地学)	地学基礎，地学	
		特別支援教育コース こども発達コース	国語		現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）	3教科から2教科選択
			数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C	
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	
	地域文化学科		国語		現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）	3教科から2教科選択
			数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C	
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	
医学部	医学科		数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	2教科と面接
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	
			面接		医師としての適性，即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考，医師としての倫理性，社会への関心度，積極性・意欲・将来性等について評価します。（個別面接）	
	保健学科	看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	1教科と面接
			面接		人の健康・生活に対する関心や理解，学習意欲と目的意識，他者への共感とコミュニケーション能力，協調性などをみます。	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース		数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	2教科（理科は，物理，化学，生物から1科目選択）
			理科	(物理)	物理基礎，物理	
				(化学)	化学基礎，化学	
				(生物)	生物基礎，生物	
	環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース		数学		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	2教科（理科は，物理，化学から1科目選択）
			理科	(物理)	物理基礎，物理	
				(化学)	化学基礎，化学	
情報データ科学部	情報データ科学科		数学		文系型：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 理系型：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	2教科
			外国語(英語)		英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	

学則の変更の趣旨－41

注１）数学の出題範囲は以下のとおりとします。
　○国際資源学部，教育文化学部学校教育課程初等中等教育コース理数型，医学部，総合環境理工学部，情報データ科学部理系型の出題範囲
　　数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲは，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」，数学Ｃは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」とします。
　○教育文化学部（学校教育課程初等中等教育コース理数型を除く。），情報データ科学部文系型の出題範囲
　　数学Ⅰ，数学Ⅱは，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」，数学Ｃは「ベクトル」とします。
注２）総合環境理工学部の受験方式ａ・ｂにおける試験問題は同一のものです。
注３）情報データ科学部における受験方式理系ａ・ｂの試験問題は同一のものです。なお，文系と理系においては，数学は一部の問題が異なりますが，英語は同一の問題です。

【後期日程】

学部・学科・課程・コース				実施教科等		受験を要する教科等
				教科等	出題科目および範囲 採点・評価の観点，基準等	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース		小論文	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。	小論文および面接
				面接	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。	
		資源地球科学コース		小論文	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。	小論文および面接
				面接	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。	
		資源開発環境コース		小論文	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。	小論文および面接
				面接	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	一般型	実技検査	36ページ参照	実技検査または小論文
				小論文	教員の資質形成の基礎となる読解力，論理的思考能力，個性的な発想力，文章表現力をみます。	
				面接	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみるために，これまでの学業や課外活動等の取り組みや業績及び入学後の意欲を評価します。	面接
			英語型	外国語（英語）	英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ （スピーキングのみです。）	英語，小論文および面接
				小論文	教員の資質形成の基礎となる論理的思考能力および英語運用能力を英語によるライティングテストを通してみます。	
				面接	多様な人々と協働して学ぶ態度および英語教育を追究する意欲および適性を，日本語による面接を通してみます。	
			理数型	面接	板書等による記述を課す試問を含む，思考力，表現力を問う面接を行います。また，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。	面接
		特別支援教育コース		小論文	教育や福祉，障害に関する基礎的なテーマについて，論理構成力，独創性，文章表現力をみます。	小論文および面接
				面接	主体的に特別支援教育への理解を深め，多様な人々と協働して障害のある人を支援する意欲や態度をみます。	
		こども発達コース		記述問題	現代の文化・社会や教育・保育に関する資料を素材にして設問し，論述させ，文章や図表の理解力，思考力および表現力をみます。	記述問題および面接
				面接	教育，保育および子どもの発達に関する試問を含む面接を通して，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度や，目的意識，学習意欲，思考力および表現力をみます。	
	地域文化学科			小論文	社会や文化に関する課題文に提起されている問題点を的確に読み取り，高等学校等までで学んだ基礎知識に基づいてその問題点を考察し，自分の見解を論理的かつ説得力をもって文章化する能力をみます。	小論文および面接
				面接	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで，志望理由および入学後の学習の目標等を明確かつ簡潔に表現できる能力をみます。同時に関連諸分野への関心の高さおよび主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。	
医学部	医学科			小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし，それに対して論述させ，理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文および面接
				面接	医師としての適性，即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考，医師としての倫理性，社会への関心度，積極性・意欲・将来性等について評価します。（個別面接）	
	保健学科	看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻		小論文	医療技術者としての適正と資質を判断するため，思考力，洞察力，表現力などをみます。	小論文および面接
				面接	人の健康・生活に対する関心や理解，学習意欲と目的意識，他者への共感とコミュニケーション能力，協調性などをみます。	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース			数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C 数学は，以下の範囲からの出題とします。 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲは，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」，数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」とします。	数学および面接
				面接	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。（個別面接または集団面接）	
情報データ科学部	情報データ科学科			数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C 数学は，以下の範囲からの出題とします。 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲは，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」，数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」とします。	数学および面接
				面接	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。（個別面接または集団面接）	

学則の変更の趣旨ー43

(7) 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

【前期日程】

学部・学科・課程等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	実技検査	小論文	面接	調査書	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					950	1470
			個別学力検査等	250					250					20	520	
		資源地球科学コース 資源開発環境コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					900	1370
			個別学力検査等				200	150	100					20	470	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース 一般型	大学入学共通テスト	200×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1		※100×2/3×1 ※100×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1	200×2/3×1	50 (100×0.5×1)					650	1060
			個別学力検査等	#200			#200		#200		#200			10	410	
		初等中等教育コース 英語型	大学入学共通テスト	200×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1		※100×2/3×1 ※100×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1	200×2/3×1	50 (100×0.5×1)					650	1060
			個別学力検査等	100					注7 200			100	10		410	
		初等中等教育コース 理数型	大学入学共通テスト	200×2/3×1	100×2/3×1		100×2/3×2	100×2/3×2	200×2/3×1	50 (100×0.5×1)					650	1060
			個別学力検査等				＊400	＊400						10	410	
		特別支援教育コース こども発達コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)		※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					950	1360
			個別学力検査等	#200			#200		#200					10	410	
	地域文化学科		大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	70 (100×0.7×1)					700	1110
			個別学力検査等	#200			#200		#200					10	410	
医学部	医学科		大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)					600	1000
			個別学力検査等				100		100				200		400	
	保健学科	看護学専攻	大学入学共通テスト	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)		160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)	35 (100×0.35×1)					755	955
			個別学力検査等						100				100		200	
		理学療法学専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	35 (100×0.35×1)					665	1065
			個別学力検査等						200				200		400	
		作業療法学専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	30 (100×0.3×1)					660	1060
			個別学力検査等						200				200		400	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース	a	大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					525	985
			個別学力検査等				250	200						10	460	
		b	大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	25 (100×0.25×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	200 (200×1.0×1)	25 (100×0.25×1)					475	1385
			個別学力検査等				500	400						10	910	
情報データ科学部	情報データ科学科	文系a	大学入学共通テスト	220 (110×2.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					970	2300
			個別学力検査等				800		500					30	1330	
		理系a	大学入学共通テスト	220 (110×2.0×1)	100 (100×1.0×1)		200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					970	2300
			個別学力検査等				800		500					30	1330	
		理系b	大学入学共通テスト	110 (110×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	25 (100×0.25×1)					485	1800
			個別学力検査等				800		500					15	1315	

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合/歴史総合/公共」の素点は，この中から2つ選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の中から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注４：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は，「リーディング」と「リスニング」の配点比率を１：１とします。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注５：教育文化学部および医学部保健学科の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注６：教育文化学部の個別学力検査等欄の＃印は2科目等を選択し，＊印は1科目等を選択するものです。
注７：教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの英語型における個別学力検査等の外国語（英語）の配点内訳は，筆記100点，スピーキング100点とします。
注８：総合環境理工学部のa・bにおける個別学力検査の試験問題は同一のものです。
注９：情報データ科学部における理系ａ・ｂの個別学力検査の試験問題は同一のものです。なお，文系と理系においては，数学は一部の問題が異なりますが，英語は同一の問題です。
注10：情報データ科学部における大学入学共通テストの国語は「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用します。
注11：調査書を点数化して評価している学部・学科・コース等において，調査書が提出できない志願者の場合（高等学校卒業後一定期間が経過して発行されない場合，高等学校卒業程度認定試験合格者等）は，別途提出していただく「中学校卒業後の活動内容について」で評価します。

【後期日程】

学部・学科・課程等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	実技検査	小論文	面接	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				950	1450
			個別学力検査等									200	300	500	
		資源地球科学コース 資源開発環境コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				1100	1500
			個別学力検査等									200	200	400	
教育文化学部	学校教育課程 初等中等教育コース	一般型	大学入学共通テスト	200×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1		※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	200×7/9×1	50 (100×0.5×1)				750	1100
			個別学力検査等								#300	#300	50	350	
		英語型	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)		50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	300 (200×1.5×1)	50 (100×0.5×1)				750	1100
			個別学力検査等						100			200	50	350	
		理数型	大学入学共通テスト	200×7/9×1	100×7/9×1		100×7/9×2	100×7/9×2	200×7/9×1	50 (100×0.5×1)				750	1100
			個別学力検査等										350	350	
		特別支援教育コース こども発達コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)		※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				950	1500
			個別学力検査等									注7 250	300	550	
	地域文化学科		大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	70 (100×0.7×1)				700	1150
			個別学力検査等									300	150	450	
医学部	医学科	一般枠	大学入学共通テスト	150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)		150 (100×0.75×2)	200 (100×1.0×2)	150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)				750	1050
			個別学力検査等									100	200	300	
		秋田県地域枠	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)				500	750
			個別学力検査等									100	150	250	
	保健学科	看護学専攻	大学入学共通テスト	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)		160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)	35 (100×0.35×1)				755	955
			個別学力検査等									100	100	200	
		理学療法学専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	35 (100×0.35×1)				665	1065
			個別学力検査等									200	200	400	
		作業療法学専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	30 (100×0.3×1)				660	1060
			個別学力検査等									200	200	400	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース		大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				625	925
			個別学力検査等				100						200	300	
情報データ科学部	情報データ科学科		大学入学共通テスト	110 (110×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		500 (100×2.5×2)	100 (100×0.5×2)	300 (200×1.5×1)	50 (100×0.5×1)				1110	1410
			個別学力検査等				100						200	300	

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合/歴史総合/公共」の素点は，この中から2つ選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の中から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注４：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は，「リーディング」と「リスニング」の配点比率を１：１とします。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注５：教育文化学部および医学部保健学科の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注６：教育文化学部学校教育課程初等中等教育コース一般型における個別学力検査等欄の＃印は，１科目等を選択するものです。
注７：教育文化学部学校教育課程こども発達コースの小論文欄は，記述問題の配点を示します。
注８：情報データ科学部における大学入学共通テストの国語は「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用します。
注９：情報データ科学部における個別学力検査等の数学は，文系・理系の区分を設けませんので，出題範囲は35ページを参照してください。

学則の変更の趣旨ー45

(8) 英語資格等の活用

国際資源学部では，次の①から⑤のいずれかの要件を満たしている者は，個別学力検査の「英語」科目を免除し，満点と換算して合否判定します。「英語」科目免除の可否については，別途通知します。

英語資格等	スコア等
①TOEFL iBT	61点以上
②TOEFL ITP	500点以上
③TOEIC L&R	730点以上
④IELTS	6.0以上
⑤英検	準1級以上

注）令和6年(2024年)1月以降に受験したものを対象とします。当該スコア等を証明する書類を出願書類と同時に提出してください。(45ページ〈該当者が提出するもの〉参照)

(9) 合格者の決定

<table>
<tr><th colspan="2">学部等</th><th>試験日程</th><th>合格者の決定方法</th></tr>
<tr><td colspan="2">国際資源学部</td><td>前期日程
後期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等（前期日程は調査書の得点を含む。）の総合点に基づき合格者を決めます。
2　第２志望は，第１志望のコースが募集人員を充足し，かつ第２志望のコースがまだ募集人員を充足しない場合においてのみ，合格者の対象となります。
3　総合点が同点の場合には，同順位として取り扱います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育文化学部</td><td></td><td>前期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等（調査書の得点を含む。）の総合点に基づき合格者を決めます。
ただし，大学入学共通テストの合格判定に用いる科目と個別学力検査等（調査書の得点を除く。）に無得点の科目がある場合は，合計点にかかわらず合格者としません。
なお，総合点が同点の場合には，同順位として取り扱います。
2　次の課程・コース等では，個別学力検査のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は，合計点にかかわらず合格者としません。
課程・コース・型：指定科目（基準点：総点の4割）
学校教育課程・初等中等教育コース・一般型：筆記試験（80点），実技検査（80点）
3　学校教育課程初等中等教育コースでの合格予定者数は，型および個別学力検査等の選択科目ごとに，おおむね次のとおりとします。
型：合格予定者数
一般型：24人
英語型：6人
理数型：8人
一般型合格予定者数内訳：筆記試験２科目受験者 15人／実技検査（音楽）受験者 2人／実技検査（美術）受験者 2人／実技検査（体育）受験者 5人</td></tr>
<tr><td></td><td>後期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点に基づき合格者を決めます。
ただし，大学入学共通テストの合格判定に用いる科目と個別学力検査等に無得点の科目がある場合は，合計点にかかわらず合格者としません。
なお，総合点が同点の場合には，同順位として取り扱います。
2　次の学科・課程では，個別学力検査等のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は，合計点にかかわらず合格者としません。
学科・課程等：指定科目（基準点：総点の4割）
学校教育課程・初等中等教育コース・一般型：実技検査（120点），小論文（120点）
学校教育課程・初等中等教育コース・英語型：英　語（40点），小論文（80点）
学校教育課程・初等中等教育コース・理数型：面　接（140点）
学校教育課程・特別支援教育コース：小論文（100点），面　接（120点）
学校教育課程・こども発達コース：記述問題（100点），面　接（120点）
地域文化学科：小論文（120点），面　接（60点）
3　学校教育課程初等中等教育コースでの合格予定者数は，型および個別学力検査等の選択科目ごとに，おおむね次のとおりとします。
型：合格予定者数
一般型：8人
英語型：2人
理数型：4人
一般型合格予定者数内訳：小論文 3人／実技検査（音楽）受験者 2人／実技検査（美術）受験者 1人／実技検査（体育）受験者 2人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">医学部</td><td>医学科</td><td>前期日程
後期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点に基づき合格者を決めます。
2　面接における評価において，「不可」と判断された場合は，総合点にかかわらず合格者としません。
3　総合点が同点の場合には，医師としてより適性があると思われる者を上位とします。</td></tr>
<tr><td>保健学科</td><td>前期日程
後期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点に基づき合格者を決めます。
2　面接において面接員が「不可」の判定をした場合は，総合点にかかわらず合格者としません。
3　総合点が同点の場合には，個別学力検査等の成績上位者を優先します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合環境理工学部</td><td>前期日程
後期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等（前期日程は調査書の得点を含む。）の総合点に基づいて合格者を決めます。
2　第２志望は，第１志望の学科が募集人員を充足し，かつ第２志望の学科がまだ募集人員を充足していない場合においてのみ，合格者の対象となります。
3　総合点が同点の場合は，同順位として取り扱います。
4　前期日程においては，受験方式ａ・ｂそれぞれの方式で合格者を決めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報データ科学部</td><td>前期日程
後期日程</td><td>1　大学入学共通テストと個別学力検査等（前期日程は調査書の得点を含む。）の総合点に基づいて合格者を決めます。
2　総合点が同点の場合は，同順位として取り扱います。
3　前期日程においては，受験方式ａ（文系・理系），ｂ（理系）それぞれの方式で合格者を決めます。</td></tr>
</table>

学則の変更の趣旨－46

3 個別学力検査等の日程および試験場

(1) 日 程

【前期日程】

学部等		期日	教科・科目等	時間	
国際資源学部		令和8年2月25日(水)	英語	9:00 ～ 10:00	60分
			数学	10:50 ～ 12:20	90分
			国語	13:20 ～ 14:20	60分
			理科	13:20 ～ 14:20	60分
教育文化学部		令和8年2月25日(水)	英語	9:00 ～ 10:00	60分
			小論文 (初等中等教育コース 英語型のみ)	10:50 ～ 11:50	60分
			数学	10:50 ～ 12:20	90分
			国語	13:20 ～ 14:20	60分
			理科	13:20 ～ 14:20	60分
			スピーキング・面接 (初等中等教育コース 英語型のみ)	14:50 ～ 18:00	
		令和8年2月26日(木)	実技検査(音楽)	9:00 ～ 12:00(集合 8:30)	
			実技検査(美術)		
			実技検査(体育)	9:00 ～ 16:00(集合 8:30)	
医学部	医学科	令和8年2月25日(水)	英語	9:00 ～ 10:00	60分
			数学	10:50 ～ 12:20	90分
			面接オリエンテーション	12:30 ～ 12:50	20分
		令和8年2月26日(木)	面接	9:00 ～ 18:00	
	保健学科	令和8年2月25日(水)	英語	9:00 ～ 10:00	60分
			面接	10:30 ～ 17:00	
総合環境理工学部		令和8年2月25日(水)	数学	10:50 ～ 12:20	90分
			理科	13:20 ～ 14:20	60分
情報データ科学部		令和8年2月25日(水)	英語	9:00 ～ 10:00	60分
			数学	10:50 ～ 12:20	90分

注) 面接および実技検査の終了時刻は，受験者数により変わる場合があります。

【後期日程】

学部等		期日	教科・科目等	時間	
国際資源学部		令和8年3月12日(木)	小論文	10:30 ～ 11:30	60分
			面接	12:30 ～ 18:00	
教育文化学部		令和8年3月12日(木)	小論文，記述問題	9:00 ～ 10:00	60分
			面接	10:30 ～ 17:00	
			スピーキング・面接 (初等中等教育コース 英語型)	10:30 ～ 17:00	
			面接 (初等中等教育コース 理数型)	9:00 ～ 17:00(集合 8:30)	
			実技検査・面接 (音楽)	9:00 ～ 16:00(集合 8:30)	
			実技検査・面接 (美術)		
			実技検査・面接 (体育)	9:00 ～ 18:00(集合 8:30)	
医学部	医学科	令和8年3月12日(木)	小論文	9:00 ～ 11:00	120分
			面接	11:30 ～ 18:00	
	保健学科	令和8年3月12日(木)	小論文	9:00 ～ 10:30	90分
			面接	11:00 ～ 17:00	
総合環境理工学部		令和8年3月12日(木)	数学	9:00 ～ 9:45	45分
			面接	10:45 ～ 17:00	
情報データ科学部		令和8年3月12日(木)	数学	9:00 ～ 9:45	45分
			面接	10:30 ～ 17:00	

注) 面接および実技検査の終了時刻は，受験者数により変わる場合があります。

学則の変更の趣旨－47

(2) 試 験 場

学 部 等		日 程	※ 試 験 場
国際資源学部		前期日程	国際資源学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 国際資源学部東京試験場（**収容人員30名**） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 国際資源学部名古屋試験場（**収容人員50名**） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6
		後期日程	国際資源学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
教育文化学部		前期日程	教育文化学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 教育文化学部東京試験場（**収容人員30名**） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 （個別学力検査等で**実技検査を選択した者**および**初等中等教育コース　英語型の志望者**は秋田試験場のみとなります。）
		後期日程	教育文化学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
医学部	医学科	前期日程	医学部秋田試験場 秋田大学**本道**キャンパス：秋田市本道一丁目1の1
		後期日程	
	保健学科	前期日程	
		後期日程	
総合環境理工学部		前期日程	総合環境理工学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 総合環境理工学部東京試験場（**収容人員160名**） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 総合環境理工学部名古屋試験場（**収容人員110名**） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6
		後期日程	総合環境理工学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
情報データ科学部		前期日程	情報データ科学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 情報データ科学部東京試験場（**収容人員40名**） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 情報データ科学部名古屋試験場（**収容人員30名**） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6
		後期日程	情報データ科学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号

※ 試験場の案内（56～58ページ）を参照ください。

(3) 前期日程における試験場（受験地）について

① 前期日程の希望受験地は出願時に選択してください。出願後の変更の申し出は受け付けておりません。

② 東京および名古屋試験場を希望した志願者は，出願受付完了順（出願システム入力順ではありません。）に割り当てます。上記収容人員に達した場合は，秋田試験場での受験となり東京および名古屋試験場での受験は認められませんので「受験票ダウンロード可能」のメール通知が入り次第，直ちに受験票を印刷したうえで受験票に記載されている試験場を確認してください。**受験票に記載されている試験場以外では受験することができません。**

※ 教育文化学部の初等中等教育コース一般型志願者で実技検査を選択した者，初等中等教育コース英語型の志願者，医学部の志願者は，秋田試験場のみとなります。

【挟み込み資料】

医学部医学科の募集人員について（申請予定）

医学部医学科では，令和７年度入試から秋田県内の更なる医師確保のため，学校推薦型選抜に『東北地域枠』を新設しました。また，「地域の医師確保のための定員増」，「新成長戦略」，「新医師確保総合対策」，「緊急医師確保対策」に基づき開始された，暫時的な医学部定員増が令和４年度に終了したことに伴い，令和９年度入試における募集人員は，『一般選抜　前期日程 45 人，後期日程 20 人，学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）20 人，学校推薦型選抜Ⅱ（東北地域枠）10 人』となります。

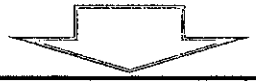
現在，『一般選抜　前期日程 45 人，後期日程（一般枠）20 人，後期日程（秋田県地域枠）5 人，学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）20 人，学校推薦型選抜Ⅱ（東北地域枠）10 人学校推薦型選抜Ⅱ（秋田県地域枠）24 人』となるよう**申請予定でありますが，今後変更となる場合もあります。**

なお，詳細については決定次第ホームページでお知らせしますので，医学部医学科を志願される方は必ず確認してください。

令和８年度入試	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人留学生入試
		前期日程	後期日程	Ⅱ	
医学科	124	45	25※1	54※2	若干名

※1　25 人のうち，一般枠 20 人，秋田県地域枠 5 人

※2　54 人のうち，一般枠 20 人，東北地域枠 10 人，秋田県地域枠 24 人）



令和９年度入試	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人留学生入試
		前期日程	後期日程	Ⅱ	
医学科	95	45	20※3	30※4	若干名

※3　20 人は一般枠 20 人

※4　30 人のうち，一般枠 20 人，東北地域枠 10 人



令和９年度入試	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人留学生入試
		前期日程	後期日程	Ⅱ	
医学科	124	45	25※5	54※6	若干名

※5　25 人のうち，一般枠 20 人，秋田県地域枠 5 人

※6　54 人のうち，一般枠 20 人，東北地域枠 10 人，秋田県地域枠 24 人

なお，※5 および※6 の秋田県地域枠の募集人員は変更されることがありますが，決定次第，本学ホームページでお知らせしますので確認してください。

秋田大学医学部
医学科へようこそ
2027



素晴らしき先輩と充実した教育システム、温かい人々、雄大な自然に囲まれて秋田大学で医学を学ぶ

秋田大学 医学部長
宮腰　尚久

秋田大学医学部は1970年に創設され、半世紀以上にわたって秋田県唯一の医育機関として、多くの優れた医師・医学研究者を育成してきました。地域医療の最後の砦として地域住民の命を守りながらも、世界トップレベルの医学研究、先端的医療を実践しています。

秋田県を始めとして、日本全体が急速な少子高齢化、地方における過疎や医師不足が深刻化する中で、秋田大学医学部の果たす役割はますます大きくなっています。秋田大学医学部では、50名以上の優れた教授陣、約200名の熱意溢れる教員、1000人以上の医師、看護師や薬剤師などの専門メディカルスタッフを揃えています。さらに秋田県内の多くの主要医療機関が医学生の臨床実習を支えてくれています。これら全ての専門家が一丸となって、「オール秋田」で医学生の教育に取り組んでいきます。

私共、秋田大学医学部は、地域医療への理解と共感を有し、将来の医師として、強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人を求めています。また医学・医療に関する研究を極め、国際舞台での活躍を目指す人たちの入学も大歓迎です。温かい秋田の人々、緑豊かで雄大な自然に囲まれて、秋田大学医学部で心地よく学び、充実した学生生活を満喫してください。そして医療・医学の発展や社会に貢献できる信頼される「医」のプロフェッショナルを目指しましょう。

学則の変更の趣旨ー50



入学者選抜方法

一般選抜

大学入学共通テスト，個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して合否を判定します。

前期日程
個別学力検査では，外国語および数学の筆記試験のほか面接を行います。

後期日程
個別学力検査では，小論文と面接を行います。

- **一般枠**
  従来より実施している後期日程入試です。
- **秋田県地域枠**
  秋田県内の高校等出身の方対象です。
  在学中，秋田県からの修学資金の貸与を受け，卒業後一定期間秋田県内の医療機関に従事することになります。

学校推薦型選抜

秋田大学医学部医学科では，学校推薦型選抜をおこなっています。以下のように複数の推薦枠があり，優秀な学生を募集しています。

学校推薦型選抜Ⅱ
大学入学共通テスト，調査書，推薦書，志願理由書，小論文，面接の結果を総合して合否を判定します。

- **一般枠**
  従来より実施している高校3年生を対象とした学校推薦による試験です。
- **秋田県地域枠**
  平成20年度から始めた入試選抜枠です。受験資格は既卒者（一浪）まで，秋田県内の高校等出身の方対象です。
  在学中，秋田県からの修学資金の貸与を受け，卒業後一定期間秋田県内の医療機関に従事することになります。
- **東北地域枠**
  令和7年度から新設された入試選抜枠です。
  受験資格は既卒者（一浪）まで，秋田県以外の東北の高校等出身の方対象です。卒業後，秋田大学の専門研修プログラムで専門医を取得し，一定期間秋田県内の医療機関に従事することになります。

令和9年度 秋田大学医学部医学科入試関連スケジュール

	一般選抜			学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）	
	前期日程	後期日程（一般枠）	後期（秋田県地域枠）	一般枠	秋田県地域枠・東北地域枠
令和8年12月				出願（12/9～12/15）	
令和9年1月	大学入学共通テスト（1/16・17）				
				試験（1/21）	試験（1/21・22）
	出願（1/25～2/3）				
2月				合格発表（2/10）	
	試験（2/25・26）				
3月	合格発表（3/7）				
		試験（3/12）			
		合格発表（3/21）			

※各入試区分の募集人数および入学者選抜方法については7月中旬に公表予定の「入学者選抜要項」で必ず確認してください。

全人的医学教育により
高度な知識と豊かな人間性を身につけた優れた医師を育てます。

※平成27年度より，新しい医学教育カリキュラムがスタートしました。これは，医学教育のグローバル化に対応したもので，診療に参加しながら医学・医療を学ぶ機会が従来よりもはるかに多くなっています。

6

医師国家試験

6年間の医学教育を修了し，医師国家試験に合格すると，2年間の「初期臨床研修」を受け，その後に本人の希望する専門科における研修を継続することになります。

※Post-CC：Post Clinical Clerkship
クリニカルクラークシップ(臨床実習)修了後

卒業　学位：学士(医学)

卒業試験，Post-CC OSCE

5

臨床実習(Part.2)

引き続き，臨床実習を学びます。秋以降の臨床実習では，各診療科・診療部門を4～5週間単位でローテーションでまわります。この間は完全な診療参加型の臨床実習であり，学生は診療チームの一員として参加することになります。実習は大学病院だけでなく，県内病院も含まれています。
また，この間を利用して，希望により海外の大学医学部・附属病院へ短期留学に行くコースも用意されています。

臨床実習(Part.1)

4

4年次秋からは，臨床実習生(医学)として，各診療科・診療部門を1～2週間単位でローテーションでまわり，外来・病棟・手術室などで実際の患者さんに接して学習します。

統一試験・共用試験(OSCE・CBT)

臨床医学講義(Part.2)

4年次では，臓器別の臨床講義に加えて，臨床実習に備えた基本的な診療知識・技能などを学びます。夏休み前には統一試験に加えて，全国の医学生が受験する共用試験(OSCE・CBT)が行われ，合格者のみが秋以降に始まる臨床実習に進むことができます。

※OSCE：Objective Structured Clinical Examination
臨床実習前の学生の態度，技能，知識を評価するための実技試験
CBT：Computer Based Test
コンピュータにより問題が出題される，全大学共通の共用試験

3

3年次統一試験

臨床医学講義(Part.1)
社会医学，研究配属実習

3年次からは，臨床医学及び社会医学の講義・実習が行われます。研究配属では少人数のグループに分かれて選択した講座に配属され，主に基礎研究に参加します。チュートリアル教育という少人数制の自主学習方法も取り入れられています。

2

2年次統一試験

基礎医学講義(Part.2)
基礎医学実習

2年次からはモデル・コア・カリキュラムに準拠した統合型カリキュラムによる教育が本格的に始まります。2年次では基礎医学を中心とした講義・実習が行われ，人体の構造と機能，個体の反応，原因と病態について学習します。

1

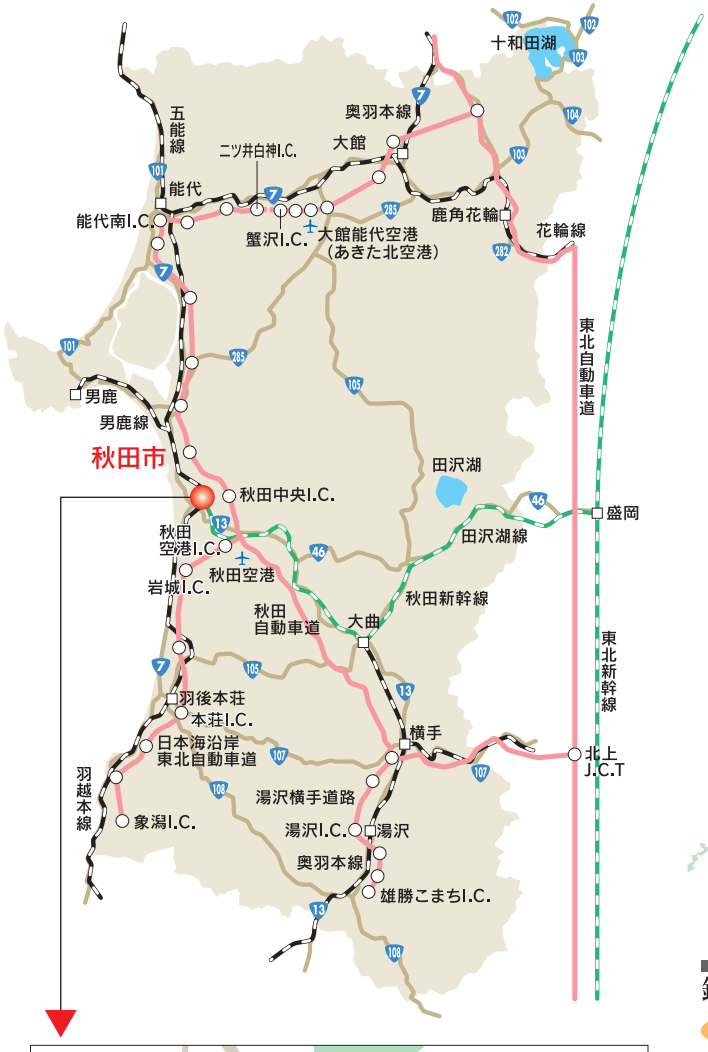
1年次統一試験

基礎医学講義(Part.1)
教養基礎教育科目，初年次ゼミ

1年次では，教養基礎教育科目に加え，初年次ゼミ，専門教育科目として基礎医学を学びます。初年次ゼミにおいては，臨床推論講義，医療面接学習，模擬患者さんとの医療コミュニケーショントレーニング(日本語および英語)，チーム医療体験実習が行われ，医学への導入とともに医療者としての態度・技能の習得に力を入れています。
従来，専門教育科目は2年次以降に始まる科目が多かったのですが，新カリキュラムでは，初年次より多くの専門科目を学ぶことになります。

入学

アクセスマップ







【JR秋田駅からのバス利用】
中央交通バス(各線とも大学病院前下車)
東口(2番)西口(11番・12番)

鉄　道

札幌	室蘭本線経由	新函館北斗	北海道新幹線	新青森	奥羽本線
仙台	秋田新幹線				
東京	秋田新幹線				

秋田　所要時間／約8時間
秋田　所要時間／約2時間
秋田　所要時間／約4時間

高速バス

新宿	秋田	所要時間／約8時間
仙台	秋田	所要時間／約4時間

高速道路

東北自動車道
川口J.C.T.
約4時間40分
北上J.C.T.
秋田自動車道
約1時間35分
秋田中央I.C.
約10分
秋田大学本道キャンパス

航　空

新千歳空港	秋田空港	所要時間／約1時間
羽田空港	秋田空港	所要時間／約1時間
中部国際空港	秋田空港	所要時間／約1時間30分
伊丹空港	秋田空港	所要時間／約1時間30分

●シンボルマークの説明
AKITA UNIVERSITYのAとUを外形AUで表し、MEDICINEのMを医学の象徴ギリシャ神話のアスクレピオスの杖に聖なる蛇のからみつく姿に表現するとともに心臓を意味する。

秋田大学大学院医学系研究科・
医学部学務課医学科担当
〒010-8543　秋田市本道1丁目1の1
TEL：018-884-6030
FAX：018-836-2845
URL：https://www.med.akita-u.ac.jp

シラバス参照

科目名/Course Title(J)
初年次ゼミⅠ「医学」
科目名/Course Title(E)
Freshman Seminar Ⅰ: medicine
科目コード/Course Code
50941301
単位数/Credits
1
開講期
第１Ｑ
時間割
第１Ｑ 火曜日 ５・６時限 第１Ｑ 火曜日 ７・８時限 第１Ｑ 火曜日 ９・10時限 第１Ｑ 水曜日 ５・６時限 第１Ｑ 水曜日 ７・８時限
標準履修年次/Academic-year Level
1
授業形式
講義,演習
授業方法
対面
授業方法について/Description of Class Form

・対面/On-campus：すべて対面で実施する授業
・ライブ遠隔/Live Remote：授業場所は定めず特定の時間にリアルタイム配信を行う授業
・オンデマンド/On-demand：すべてオンデマンドで実施する授業（事前に録画した講義動画等の教材を使用）
・ハイフレックス型/Hyflex：原則として対面授業を実施，ただし担当教員が認めた場合はライブまたはオンデマンドとして受講可能

.

・ブレンド型/on-campus and On-demand：対面とオンデマンドを組み合わせた授業
・分散型/On-campus and Remote：同じ授業回に異なる内容の授業を対面と遠隔で行い，分散して受講する授業

.

※メディア単位は上限を超えて卒業要件単位数に含めることができませんのでご注意ください。/Please keep track of the number of credits for "Under 50% of Classes On-campus" by yourself.

メディア単位/Under 50% of Classes On-campus

使用言語/Main Language

B1

使用言語について/Description of Main Language

授業で使用する言語を以下の記号で表します。/The following symbols represent the languages used in the classes.
E：英語/English
J：日本語/Jpanese
O：その他の外国語/Other

.

B1：日英併用（Lv.1）/Japanese-English combined（Lv.1）
B2：日英併用（Lv.2）/Japanese-English combined（Lv.2）
B3：日英併用（Lv.3）/Japanese-English combined（Lv.3）
※英語使用頻度（レベル）はB1→B2→B3の順に高くなります。/Frequency of English use increases in the order of B1, B2, B3.

連絡方法/notification method

休講連絡/Class Cancellation	休講以外の連絡/Other
a・net	a・net

履修する際に前提とする
授業科目

特になし

担当教員名

【担当教員名】	【所属】	【教員室番号】	【電話番号】
長谷川　仁志	医学部 医学教育学講座	基礎医学本館116	018-884-6097

オフィスアワー

【曜日・時間】
8：30～18：00　随時　要アポイント（TEL：018-884-6097）

【場所】
基礎医学研究棟 1階 医学教育学講座

授業の目的・
概要

授業の目的
１．6年間の医学教育の全体像を理解した上で、アクティブラーニングによる自己決定型学修を身につける。
２．胸痛・臨床推論と医療面接コミュニケーションスキルについてのレクチャーやロールプレイ演習過程を通じて、6年間通じて修得すべき１）プロフェッショナリズム、２）医の倫理、３）医療行動科学、４）医療安全、５）Evidence-based Medicine (EBM)、６）医療法（制度）、７）主要37症候の臨床推論・医療面接コミュニケーションスキルの学修を開始し、今後、4年次にスチューデントドクターとなり、卒後に理想的なドクターとなるための各分野の学修へつなげる。
３．基礎医学、社会医学、臨床医学教育を統合して学ぶ重要性を認識して今後の学修を発展させる。

到達目標

到達目標
１．6年間の医学教育の全体像を理解し説明できる。自己決定型学修を実践できる。
２．１）プロフェッショナリズム、２）医の倫理、３）医療行動科学、４）医療安全、５）Evidence-based Medicine (EBM)、６）医療法（制度）、７）主要37症候の臨床推論・医療面接コミュニケーションスキル中心に実践的臨床能力の学修を開始し、今後の各分野の学修へつなげることができる。
３．基礎医学、社会医学、臨床医学教育を統合して学ぶ重要性を理解して実践できる。

カリキュラム
上の
位置付け

教養基礎教育として、入学後の早い時期に医学生としての知識・技術・態度に関する卒業時の学修目標を実践的に理解し、自主的に判断し学修できる資質を身につけるための統合教育・学修への導入としての位置づけがある。

実務経験のある教員による
授業科目

実務経験有無
本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目」である
実務経験内容

授業の
進行予定
と進め方

スケジュールは別紙にて配布します。

授業時間外の学習内容等

事前課題などの資料について、a.netを通じて連絡します。授業前、授業後に必ず確認してください。
講義内容の復習、参考資料を活用した勉強など自学学修を行ってください。

授業に
関連する
キーワード

医学入門　医学教育入門　症候学
臨床推論　医療面接スキル　プレゼンテーション能力
TBL/PBL

成績評価の
方法と基準

OSCE 6 段階評価の 3 以上、客観的試験 6 割以上が合格基準。
ただしその他にも課題レポート、授業参加状況等、知識、技術、態度を総合的に判断して評価する。

教科書・
参考書等

番号	【教科書/参考書】	【書籍名】	【著者】	【出版社】	【ISBN】
No.1	教科書	病歴聴取でここまでわかる　臨床推論集中講座　胸痛	山本文雄、伊藤宏他	メディカルビュー社	4758303989
No.2	教科書	そのまま使える病院英語表現	仁木久恵、森島祐子他	医学書院	4260001441
No.3	教科書	日常診療に役立つ行動医学・心身医学アプローチ	吉内 一浩	医歯薬出版株式会社	4263206829
No.4	教科書	賢い患者	山口育子	岩波新書	4004317258
No.5	参考書	内科診断学	福井次矢	医学書院	4260020640

メッセージ

予習・復習を行ってください。
病気などのやむを得ない理由で欠席した場合は、欠席届を提出の上、必ず欠席した授業の課題に取り組むこと。
都合により、授業計画が変更になる場合があります。メール、a.net、email、webclassを頻繁に確認してください。

更新日付

2026/04/06(月) 17:58

Semester

Apr-Jun

Schedule

Apr-Jun Tue 5･6 period Apr-Jun Tue 7･8 period Apr-Jun Tue 9･10 period Apr-Jun Wed 5･6 period Apr-Jun Wed 7･8 period

Course Format

Lecture,Seminar

Class Form

On-campus

Prerequisite

No specific prerequisites

Instructor

Instructor	Department	On-Campus Office Room Number	Phone Number

Hitoshi Hasegawa	Medical Education	Basic Medicine Building 116	018-884-6097

Office Hours

Meeting Day/Time	Office
Basic Medicine Building 116	8 : 30－18 : 00　6097

Course Description Outline

1. Understand and explain the overall concept of 6-year medical education. To be able to practice self-directed learning.
2. Acquire the basic knowledge of 1) Professionalism, 2) Medical Ethics, 3) Medical Behavioral Science, 4) Patient Safety, 5) Evidence-based Medicine (EBM), 6) Medical Law (System), 7) Clinical Reasoning a nd Medical Interviewing Communication Skills for 37 main syndromes. The students will be able to con nect this to their future studies in each field.
3.Understand and practice the importance of integrating basic medicine, social medicine, and clinical medical education.

Course Objectives

Course objectives
Students will be able to
1.Acquire self-directed learning ability through active learning, with an understanding of the overall pic ture of six years of medical education.
2.Acquire a basic comprehension of 1) Professionalism, 2) Medical Ethics, 3) Medical Behavioral Scienc e, 4) Patient Safety, 5) Evidence-based Medicine (EBM), 6) Medical Law (and the legal system), 7) Clin ical Reasoning and Medical Interviewing Communication Skills for 37 main syndromes. Students will b e able to connect this understanding to their future studies in each field.
3.Understand the importance of integrating basic medicine, social medicine, and clinical medicine, and put this knowledge to practical use.

Positioning of the Course on Curriculum

This course is a part of liberal arts.

Instructors with practical experience

Practical experience
Instructors with practical experience
Work experience content

Class Schedule and Format

The schedule list will be distributed particularly. Please refer.

Contents of Out-of-Class Study

Students must check all materials for class on a.net (Akita University's Portal system) before and after each class.
Students are expected to :
- review the lectures.
- study the recommended readings.

Course Keywords

Medical Education	Introduction to Medicine	Symptomatics
Clinical reasoning	Medical interview skills	Presentation ability
TBL/PBL		

Grading Criteria

The standard for passing the OSCE is a score of 3 or higher on the 6-point scale and 60% or higher on the objective examination.
In addition to this, evaluation will be based on a comprehensive assessment of knowledge, skills, and attitude, including assignment reports and class participation.

Textbook/
Reference Book

No	Textbook or Reference Books	Names of books	Author	Publisher	ISBN
No.1	Textbook	Intensive Course of Clinical Reasoning: Chest Pain	Fumio Yamamoto, Hiroshi Ito, Kyouichi Ono, and Hitoshi Hasegawa	Medical View Co. Ltd.	4758303989
No.2	Textbook	Hospital English expression 5000	Hisae Niki, Yuko Morishima, Nancy Sharts-Hopko	Igakushoin	4260001441
No.3	Textbook	Behavior medicine, psychosomatic medicine approach for daily medical treatment	Kazuhiro Yoshiuchi	Ishiyakusyuppan	4263206829
No.4	Textbook	Smart patient	Ikuko Yamaguchi	Iwanamishinsho	4004317258
No.5	Reference Book	Internal medicine diagnostics	Tuguya Fukui, Nobuo Nara	Igakushoin	4004317258

Messages

It's necessary to review after class and prepare for next class.
If you miss a class, you must submit absence notice and submit any required assignments.
The class schedule is subject to change as necessary. Please check a.net, email, and Webclass, frequently.

シラバス参照

科目名/Course Title(J)
初年次ゼミⅡ「医学」
科目名/Course Title(E)
Freshman Seminar II: medicine
科目コード/Course Code
50941302
単位数/Credits
1
開講期
第２Ｑ
時間割
第２Ｑ 火曜日 ５・６時限 第２Ｑ 火曜日 ７・８時限 第２Ｑ 火曜日 ９・10時限 第２Ｑ 水曜日 ５・６時限 第２Ｑ 水曜日 ７・８時限
標準履修年次/Academic-year Level
1
授業形式
講義,演習
授業方法
対面
授業方法について/Description of Class Form

・対面/On-campus：すべて対面で実施する授業
・ライブ遠隔/Live Remote：授業場所は定めず特定の時間にリアルタイム配信を行う授業
・オンデマンド/On-demand：すべてオンデマンドで実施する授業（事前に録画した講義動画等の教材を使用）
・ハイフレックス型/Hyflex：原則として対面授業を実施，ただし担当教員が認めた場合はライブまたはオンデマンドとして受講可能

.

・ブレンド型/on-campus and On-demand：対面とオンデマンドを組み合わせた授業
・分散型/On-campus and Remote：同じ授業回に異なる内容の授業を対面と遠隔で行い，分散して受講する授業

.

※メディア単位は上限を超えて卒業要件単位数に含めることができませんのでご注意ください。/Please keep track of the number of credits for "Under 50% of Classes On-campus" by yourself.

メディア単位/Under 50% of Classes On-campus

使用言語/Main Language

B1

使用言語について/Description of Main Language

授業で使用する言語を以下の記号で表します。/The following symbols represent the languages used in the classes.
E：英語/English
J：日本語/Jpanese
O：その他の外国語/Other

.

B1：日英併用（Lv.1）/Japanese-English combined（Lv.1）
B2：日英併用（Lv.2）/Japanese-English combined（Lv.2）
B3：日英併用（Lv.3）/Japanese-English combined（Lv.3）
※英語使用頻度（レベル）はB1→B2→B3の順に高くなります。/Frequency of English use increases in the order of B1, B2, B3.

連絡方法/notification method

休講連絡/Class Cancellation	休講以外の連絡/Other
a・net	a・net

履修する際に前提とする
授業科目

特になし

担当教員名

【担当教員名】	【所属】	【教員室番号】	【電話番号】
長谷川　仁志	医学部 医学教育学講座	基礎医学本館116	018-884-6097

オフィスアワー

【曜日・時間】
8：30～18：00　随時　要アポイント（TEL：018-884-6097）

【場所】
基礎医学研究棟 1階 医学教育学講座

授業の目的・
概要

授業の目的
１．6年間の医学教育の全体像を理解した上で、アクティブラーニングによる自己決定型学修を身につける。
２．胸痛・臨床推論と医療面接コミュニケーションスキルについてのレクチャーやロールプレイ演習過程を通じて、6年間通じて修得すべき１）プロフェッショナリズム、２）医の倫理、３）医療行動科学、４）医療安全、５）Evidence-based Medicine (EBM)、６）医療法（制度）、７）主要37症候の臨床推論・医療面接コミュニケーションスキルの学修を開始し、今後、4年次にスチューデントドクターとなり、卒後に理想的なドクターとなるための各分野の学修へつなげる。
３．基礎医学、社会医学、臨床医学教育を統合して学ぶ重要性を認識して今後の学修を発展させる。

到達目標

到達目標
１．6年間の医学教育の全体像を理解し説明できる。自己決定型学修を実践できる。
２．１）プロフェッショナリズム、２）医の倫理、３）医療行動科学、４）医療安全、５）Evidence-based Medicine (EBM)、６）医療法（制度）、７）主要37症候の臨床推論・医療面接コミュニケーションスキル中心に実践的臨床能力の学修を開始し、今後の各分野の学修へつなげることができる。
３．基礎医学、社会医学、臨床医学教育を統合して学ぶ重要性を理解して実践できる。

カリキュラム
上の
位置付け

教養基礎教育として、入学後の早い時期に医学生としての知識・技術・態度に関する卒業時の学修目標を実践的に理解し、自主的に判断し学修できる資質を身につけるための統合教育・学修への導入としての位置づけがある。

実務経験のある教員による
授業科目

実務経験有無
本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目」である
実務経験内容

授業の
進行予定
と進め方

スケジュールは別紙にて配布します。

授業時間外の学習内容等

事前課題などの資料について、a.netを通じて連絡します。授業前、授業後に必ず確認してください。
講義内容の復習、参考資料を活用した勉強など自学学修を行ってください。

授業に
関連する
キーワード

医学入門　医学教育入門　症候学
臨床推論　医療面接スキル　プレゼンテーション能力
TBL/PBL

成績評価の
方法と基準

学則の変更の趣旨ー62

OSCE 6 段階評価のうち 3 以上、客観的試験 6 割以上が合格基準。
ただしその他にも課題レポート、授業参加状況等、知識、技術、態度を総合的に判断して評価する。

教科書・
参考書等

番号	【教科書/参考書】	【書籍名】	【著者】	【出版社】	【ISBN】
No.1	教科書	病歴聴取でここまでわかる　臨床推論集中講座　胸痛	山本文雄、伊藤宏他	メディカルビュー社	4758303989
No.2	教科書	そのまま使える病院英語表現	仁木久恵、森島祐子他	医学書院	4260001441
No.3	教科書	日常診療に役立つ行動医学・心身医学アプローチ	吉内 一浩	医歯薬出版株式会社	4263206829
No.4	教科書	賢い患者	山口育子	岩波新書	4004317258
No.5	参考書	内科診断学	福井次矢	医学書院	4260020640

メッセージ

予習・復習を行ってください。
病気などのやむを得ない理由で欠席した場合は、欠席届を提出の上、必ず欠席した授業の課題に取り組むこと。
都合により、授業計画が変更になる場合があります。メール、a.net、email、webclassを頻繁に確認してください。

更新日付

2026/04/06(月) 17:58

Semester

Jun-Sep

Schedule

Jun-Sep Tue 5･6 period Jun-Sep Tue 7･8 period Jun-Sep Tue 9･10 period Jun-Sep Wed 5･6 period Jun-Sep Wed 7･8 period

Course Format

Lecture,Seminar

Class Form

On-campus

Prerequisite

No specific prerequisites

Instructor

Instructor	Department	On-Campus Office Room Number	Phone Number

Hitoshi Hasegawa	Medical Education	Basic Medicine Building 116	018-884-6097

Office Hours

Meeting Day/Time	Office
Basic Medicine Building 116	8 : 30－18 : 00　6097

Course Description Outline

1. Understand and explain the overall concept of 6-year medical education. To be able to practice self-directed learning.
2. Acquire the basic knowledge of 1) Professionalism, 2) Medical Ethics, 3) Medical Behavioral Science, 4) Patient Safety, 5) Evidence-based Medicine (EBM), 6) Medical Law (System), 7) Clinical Reasoning a nd Medical Interviewing Communication Skills for 37 main syndromes. The students will be able to con nect this to their future studies in each field.
3.Understand and practice the importance of integrating basic medicine, social medicine, and clinical medical education.

Course Objectives

Course objectives
Students will be able to
1.Acquire self-directed learning ability through active learning, with an understanding of the overall pic ture of six years of medical education.
2.Acquire a basic comprehension of 1) Professionalism, 2) Medical Ethics, 3) Medical Behavioral Scienc e, 4) Patient Safety, 5) Evidence-based Medicine (EBM), 6) Medical Law (and the legal system), 7) Clin ical Reasoning and Medical Interviewing Communication Skills for 37 main syndromes. Students will b e able to connect this understanding to their future studies in each field.
3.Understand the importance of integrating basic medicine, social medicine, and clinical medicine, and put this knowledge to practical use.

Positioning of the Course on Curriculum

This course is a part of liberal arts.

Instructors with practical experience

Practical experience
Instructors with practical experience
Work experience content

Class Schedule and Format

The schedule list will be distributed particularly. Please refer.

Contents of Out-of-Class Study

Students must check all materials for class on a.net (Akita University's Portal system) before and after each class.
Students are expected to :
- review the lectures.
- study the recommended readings.

Course Keywords

Medical Education	Introduction to Medicine	Symptomatics
Clinical reasoning	Medical interview skills	Presentation ability
TBL/PBL		

Grading Criteria

The standard for passing the OSCE is a score of 3 or higher on the 6-point scale and 60% or higher on the objective examination.
In addition to this, evaluation will be based on a comprehensive assessment of knowledge, skills, and attitude, including assignment reports and class participation.

Textbook/
Reference Book

No	Textbook or Reference Books	Names of books	Author	Publisher	ISBN
No.1	Textbook	Intensive Course of Clinical Reasoning: Chest Pain	Fumio Yamamoto, Hiroshi Ito, Kyouichi Ono, and Hitoshi Hasegawa	Medical View Co. Ltd.	4758303989
No.2	Textbook	Hospital English expression 5000	Hisae Niki, Yuko Morishima, Nancy Sharts-Hopko	Igakushoin	4260001441
No.3	Textbook	Behavior medicine, psychosomatic medicine approach for daily medical treatment	Kazuhiro Yoshiuchi	Ishiyakusyuppan	4263206829
No.4	Textbook	Smart patient	Ikuko Yamaguchi	Iwanamishinsho	4004317258
No.5	Reference Book	Internal medicine diagnostics	Tuguya Fukui, Nobuo Nara	Igakushoin	4004317258

Messages

It's necessary to review after class and prepare for next class.
If you miss a class, you must submit absence notice and submit any required assignments.
The class schedule is subject to change as necessary. Please check a.net, email, and Webclass, frequently.

令和 8 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分　　類：医療・社会・行動科学 I
授業科目名：医療行動科学（Medical behavioral science）－医師・医療者、患者・家族の行動科学と適切な対応を学んでこれからの理想的な医療を担う－
対象学年：1 年次 必修
時間割コード：71583001
開設学期等：第 1 週 ～ 第 13 週（毎週火曜日 3-10 時限）
単　位　数：3

1. **主任教員**

長谷川仁志 (教授、医学教育学講座、6097)

2. **担当教員**

長谷川仁志 (教授、医学教育学講座、6097)
工藤　由紀子 (教授、保健学専攻　看護学講座　基礎看護学分野)
今野　　玲子 (、附属病院　実習等調整担当看護師長)
芦田　　ルリ (非常勤講師、東京慈恵会医科大学　医学部　教授)

3. **授業のねらい及び概要（学修目標）**

ねらい

すべての医師は、身体的な病態を科学的に捉えると同時に、プロとしてその心や行動についても十分に理解し、思いやりの気持ちをもって対応するスキルを修得することで、患者・家族や医療者と良好なコミュニケーションを実現し、病気の予後改善や理想的な医療につながる体制を構築していく必要があります。そのためには、医学生として 1 年次早期から医師・医療者、患者・家族に関する医療行動科学を学修することを開始し、6 年間でそれを実践できるような意識を持つことが重要です。

本講義では、多くの事例ベースからなる腹痛患者さんへの医療面接・臨床推論の講義と演習、看護演習・看護実習、早期臨床実習から、医師-患者・家族 (さらには医師-医療従事者) 間の関係を良好にして、同職種、多職種、さらには患者・家族も含んだ広義のチーム医療の質を向上し充実するための医療行動科学について、様々な観点からの基本事項を実践的に学び、これからの 6 年間の学修につなげます。ここでは、チームビルディングにおける医師の役割やコミュニケーションスキル（ノンテクニカルスキル）としての医療行動科学と、基礎医学、社会医学、臨床医学の統合学修の重要性も理解することになります。

また、並行して、卒後臨床研修でも向上しつつ生涯重要となる肺の聴診、心エコー・腹部エコー学修・演習を行うことによっても基礎医学と臨床医学の（学年を超えた）垂直統合学修の重要性を学びます。

これら医療行動科学科目期間の学修内容は、1 年次前期の初年次ゼミから引き続き 6 年間シームレスに学ぶべきプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての実践的な理解も目標としています。

学修目標

１．医療面接における腹痛の臨床推論、医療面接コミュニケーションスキル（日本語、英語）の基本を実践的に修得するとともに、基礎医学、社会医学、臨床医学、医療行動科学各分野と水平・垂直統合しながら自ら積極的に学んでいく意義を理解する。
（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-6、4-1～4-2、4-4～4-5、5-3～5-5、6-1～6-2）

２．看護演習、看護実習により、チーム医療、多職種連携の重要性および患者さんの心身のケア、医療安全・患者安全についての理解を深める。
（1-1～1-2、2-1～2-7、3-5～3-7、4-7～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

３．大学・県内の病院など地域医療・医療連携の一線現場における医師の診療活動、患者・医師関係、チーム医療について現場で見学実習することにより、医師の使命・チーム医療のリーダーとしてあるべき姿・プロフェッショナリズムを実

学則の変更の趣旨ー66

感するとともに、患者さん・ご家族や医療者の皆さんとのコミュニケーション、医の倫理、医療安全、様々な患者さんの背景に沿った総合的な診療の重要性を理解する。
（1-1～1-2、2-1～2-8、3-5～3-7、4-7～4-8））

４．卒後臨床研修で重要な心エコー・腹部エコーの基本画像を実践的に描出することにより、臨床における心臓と腹部臓器の重要ポイントを理解し、2 年生の解剖学をはじめとする基礎医学学修やその後の臨床医学学修に結びつける。
（3-1～3-3）

５．上記１から 4 の過程で、【1 年次医療行動科学】として以下の事項等の全体概要を学び、今後の各分野 6 年間の継続的な学修へと結びつける。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-7）

【1 年次医療行動科学】
１）医師と患者：行動変容、各種バイアス　（１）医療面接の行動科学：コミュニケーションスキル（２）共感（パートナーシップ、敬意）（３）悪い知らせを知らせる（４）困難な患者・難しい状況（５）マインドフルな診療、様々な背景を考慮した総合的な診療　（６）EBM とインフォームドコンセント、ICT の活用
２）特定の集団への対応　　（１）家族　・子育て　　・医学的な問題や症状に関して家族が感じている困難さをスクリーニングする・危険信号を出している問題・医師―患者―家族の問題をスクリーニングする（２）小児・過剰なストレス・医師―子供―親の三角関係・いじめ（３）高齢者・高齢者とのコミュニケーションにおける配慮（４）異文化コミュニケーション（５）チーム医療・医師のチーム、診療科を超えたチーム医療、・多職種連携チーム医療
３）健康関連行動　（１）患者のアドヒアランスノンアドヒアランスの原因　（医療者側の原因、患者側の原因）（２）ストレスと疾患・消化器疾患、心血管疾患

4. 教科書・参考書

○教科書
１．臨床推論集中講義　胸痛（メディカルビュー社）
２．日常診療に役立つ行動医学・心身アプローチ（医歯薬出版）
３．そのまま使える病院英語表現 5000（医学書院）
４．賢い患者（岩波新書）
５．医師・医学生のための人類学・社会学 臨床症例／事例で学ぶ　（ナカニシヤ出版）

○以下は、推奨図書
６．内科診断学 (医学書院)
７．内科学（朝倉書店）
８．人体の正常構造と機能（日本医事新報社）

5. 成績評価の方法

１．パフォーマンス評価
腹痛医療面接 OSCE（客観的臨床実技試験）日本語・英語
心エコー・腹部エコー・肺の聴診 OSCE（客観的臨床実技試験）
早期臨床実習ポートフォーリオ、腹痛鑑別診断のスライド・発表原稿等の提出課題内容
２．態度評価
出席状況、学修・実習・演習態度、アンプロフェッショナルな態度の有無
提出課題内容
３．知識の評価
統一試験

上記の 1，2 が不良の場合には、本科目の講義と実習の履修終了とみなされないため、3 統一試験の受験資格が認められな

くなります。

6. **授業時間外の学習内容・その他・メッセージ**

1 学期初年次ゼミの医療面接コミュニケーションスキル、医療安全、医療行動学について復習してくること。
1 学期のうちに、実習のドレスコードにあるケーシの白衣を準備すること（クラスで共同購入等）。初めの週から、看護演習・看護実習と病院での実習があります。臨床現場における頭髪、身なりは十分に配慮してください。
※本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9 月 24 日 (木)	0-0 時限	チュート リアル	テーマ :【 オンデマンド 】オリエンテーション 、看護演習・実習説明 【 オンデマンド 】以下の内容を初年次ゼミや事前学習としておこないます。 オリエンテーション 後期授業説明 看護演習・実習説明 医療行動科学の概要	長谷川仁志 工藤　由紀子 今野　玲子	基礎講義棟 1 階第 1 講義室、5 B 実習室
2	9 月 24 日 (木)	1-10 時限	実習	テーマ：看護演習 医療安全・患者安全に配慮した看護の基本技術について実践的に学び、演習します。	長谷川仁志 工藤　由紀子	基礎講義棟 1 階第 1 講義室、保健学科
3	9 月 25 日 (金)	1-10 時限	実習	テーマ：A クラス　看護実習 A クラス：看護実習 附属病院各病棟で、担当看護師さんとともに医療安全・患者安全に配慮した看護実習を 1 日行います。 B:後期授業と学び方ガイド　（その後、各グループ代表の心エコー・腹部エコー演習 ）	長谷川仁志 今野　玲子	A クラス：附属病院、B クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センターおよび実習チュートリアル室
4	9 月 28 日 (月)	1-10 時限	実習	テーマ：B クラス　看護実習 B クラス：看護実習 附属病院各病棟で、担当看護師さんとともに医療安全・患者安全に配慮した看護実習を 1 日行います。 A:後期授業と学び方ガイド　（その後、各グループ代表の心エコー・腹部エコー演習 ）	長谷川仁志 今野　玲子	B クラス：附属病院、A クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センターおよび実習チュートリアル室
5	9 月 29 日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 A クラス：早期臨床実習 1 日目（ 大学病院各科・県内医療機関での実習 ） B クラス：１）医療行動科学 　事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショシナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 　２）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	A クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、B クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
6	10 月 6 日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 B クラス：早期臨床実習 1 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） A クラス：１）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショシナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 ２）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	B クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、A クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
7	10 月 13 日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 A クラス：早期臨床実習２日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） B クラス：１）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショシナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 ２）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	A クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、B クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
8	10 月 20 日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 B クラス：早期臨床実習２日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） A クラス：１）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショシナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 ２）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	B クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、A クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
9	10 月 27 日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 A クラス：早期臨床実習３日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） B クラス：１）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショシナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 ２）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	A クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、B クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
10	11 月 10 日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 B クラス：早期臨床実習３日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） A クラス：１）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショシナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 ２）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	B クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、A クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
11	11 月 17 日 (火)	3-10 時限	全体討議	テーマ：臨床実習経験発表会 チーム医療実習総括学習、特別講義（英語医療面接）	長谷川仁志 芦田　ルリ	基礎講義棟 1 階第 1 講義室
12	11 月 24 日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ：臨床実習経験発表会、OSCE 演習 午前：肺聴診 OSCE 午後：チーム医療実習総括学習、OSCE 演習	長谷川仁志	基礎講義棟 1 階第 1 講義室および学生実習棟 2 階チュートリアル室、シミュレーション教育センター
13	12 月 1 日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ : 腹痛　医療面接　OSCE　日本語　および腹部エコー OSCE 客観的臨床能力試験 : OSCE 医療面接（日本語）および腹部エコー OSCE	長谷川仁志	基礎講義棟 1 階第 1 講義室および学生実習棟 2 階チュートリアル室
14	12 月 8 日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ : 腹痛　医療面接　OSCE　英語　および　心エコー OSCE 客観的臨床能力試験 : OSCE 医療面接（英語）および心エコー	長谷川仁志	基礎講義棟 1 階第 1 講義室および学生実習棟 2 階チュートリアル室
15	12 月 15 日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ : 医療行動科学　2 学期のまとめ、OSCE 追試験 2 学期のまとめ OSCE 追試験	長谷川仁志	基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター

令和 8 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分　　類：医療・社会・行動科学 II
授業科目名：地域医療・コミュニケーションとチーム医療（Community Medicine）
対象学年：2 年次 必修
時間割コード：71583004
開設学期等：第 33 週 ～ 第 33 週
単 位 数：1

1. **主任教員**

長谷川仁志 (教授、医学教育学講座、6097)

2. **担当教員**

長谷川仁志 (教授、医学教育学講座、6097)
岡崎三枝子 (講師、総合臨床教育研修センター)
赤 嶺 陽 子 (非常勤講師、大阪市立総合医療センター小児集中治療部)
伊 藤 伸 一 (非常勤講師、伊藤医院　院長、秋田県医師会副会長)
市 原 利 晃 (非常勤講師、秋田往診クリニック理事長)
蓮 沼 直 子 (非常勤講師、広島大学医学部附属医学教育センター教授)

3. **授業のねらい及び概要（学修目標）**

これからの高齢社会では、患者さんにとって心身ともに切れ目なく安心して医療を受けられるような地域医療連携が必須である。本プログラムでは、地域医療の意義と魅力および現状と課題を学ぶ。その際にどのような分野の医師にとっても、大切な地域医療連携・プライマリケアを実践できる基本的診療能力と、地域包括ケア・地域医療連携の様々な課題を解決していく全人的医療実践能力、各種チーム医療を向上するためのチームビルディングのためのノンテクニカルスキルの重要性や医療行動科学について事例ベースで検討し理解する。さらに、医療充実に重要な医師のキャリア形成について考える。
アクティブラーニングの過程で、プロフェッシナリズム、コミュニケーション力、問題解決力、医療行動科学、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての実践的能力を高める。

学修目標
１. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。(4-7～4-8、3-7)
２. 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。(3-7、4-7～4-8)
３. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、多職種連携の重要性を説明できる。(2-6、3-7、4-7～4-8)
４. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。(1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-7～4-8)
５. 医師会の役割を説明できる。(1-1～1-2、3-4～3-7、4-7～4-8、6-1～6-2)
６. 死生観と診療について説明できる。(1-1～1-2、2-1～2-8、4-1～4-8)
７. ACP(Advanced Care Planning)について説明できる。(1-1～1-2、2-1～2-8、4-1～4-8)
８. 主要 41 症候に対するプライマリケア診療実践力修得のために、医療面接に加えて心電図、聴診による臨床推論を説明できる。(3-1～3-6、4-1～4-6、6-1～6-2、5-1～5-5)
９. これからの医師のキャリア・男女共同参画について説明できる。(3-7、2-2、4-7～4-8、5-5)
１０. 本領域と関連したプロフェッシナリズム、コミュニケーション力、問題解決力、医療行動科学、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度について理解し、今後の学修と結びつけることができる。(1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2)

4. **教科書・参考書**

参考書
・地域医療学入門　（日本医学教育学会地域医療教育委員会）

5. **成績評価の方法**

出席状況・態度、グループ学習状況、発表状況・態度、レポート提出、
統一試験

6. **授業時間外の学習内容・その他・メッセージ**

※本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	1月4日 (月)	1-10時限	グループ学習	テーマ：医師のキャリア形成・男女共同参画　1 いくつかのロールモデルを参考に、これからの医師のキャリア形成・男女共同参画について、各種制度活用も含めて事例ベースのPBL形式で学ぶ。	岡崎三枝子 蓮沼 直子	基礎講義棟2階　第2講義室、チュートリアル室
2	1月5日 (火)	1-6時限	グループ学習	テーマ：医師のキャリア形成・男女共同参画　2 キャリア形成におけるジェンダーバイアスについて、社会学の分野で研究・証明されている事象について解説し、学生時代から認識することを目的とする。事例ベースにPBL形式で検討する。	岡崎三枝子 赤嶺 陽子	基礎講義棟2階　第2講義室、チュートリアル室
3	1月5日 (火)	7-10時限	講義	テーマ：医師のキャリア形成・男女共同参画　3 キャリア形成におけるジェンダーバイアスについて、社会学の分野で研究・証明されている事象について解説し、学生時代から認識することを目的とする。事例ベースにPBL形式で検討する。	岡崎三枝子 赤嶺 陽子	基礎講義棟2階　第2講義室
4	1月6日 (水)	1-2時限	講義	テーマ：地域医療学・行動医療科学・地域医療とコミュニケーション 地域社会における医療の状況、医師の偏在や、医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想等について学ぶ。	長谷川仁志	基礎講義棟2階　第2講義室
5	1月6日 (水)	3-4時限	講義	テーマ：地域医療学・行動医療科学・地域医療とコミュニケーション 在宅医療の実際と多職種連携に関する講義で、医療や介護に携わる多職種が話し合う医療と介護関係者の顔の見える関係の構築により、療養者及びその家族のQOLの向上につながると取り組みについて学ぶ。	伊藤 伸一	基礎講義棟2階　第2講義室
6	1月6日 (水)	5-10時限	グループ学習	テーマ：プライマリケアの意義、臨床推論の手法を修得する【臨床推論２】 何科の医師にとっても重要なプライマリケア心電図等の判読と臨床推論ポイントについて学ぶ。	長谷川仁志	基礎講義棟2階　第2講義室
7	1月7日 (木)	1-4時限	講義	テーマ：プライマリケアの意義、臨床推論の手法を修得する【臨床推論２】 何科の医師にとっても重要なプライマリケア心電図等の判読と臨床推論ポイントについて学ぶ。	長谷川仁志	基礎講義棟2階　第2講義室
8	1月7日 (木)	5-10時限	グループ学習	テーマ：地域医療学・行動医療科学・地域医療とコミュニケーション 在宅医療の際に生じる様々な課題と解決策について、症例ベースにPBL形式でグループごとに検討・発表後、実際の在宅診療の医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャーからの直接の意見をもらって実践的に学ぶ。	市原 利晃	基礎講義棟2階　第2講義室
9	1月8日 (金)	1-10時限	講義	テーマ：プライマリケアの意義、臨床推論の手法を修得する　【臨床推論２】 何科の医師にとっても重要なプライマリケア聴診等の身体診察と臨床推論ポイントについて学ぶ。	長谷川仁志	基礎講義棟2階　第2講義室

令和 8 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分　　類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：総合診療・検査診断学（Clinical Reasoning and Laboratory Medicine）－感染・免疫アレルギー・総合診療アドバンスト・コース－
対 象 学 年：4 年次 選択
時間割コード：71594005
開設学期等：第 13 週
単 位 数：0.5

1. **主任教員**

植 木 重 治 (教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)

2. **担当教員**

植 木 重 治 (教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)
嵯 峨 知 生 (病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00)
守 時 由 起 (准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)
嵯峨亜希子 (助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)
引　地　悠 (特任助教、男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8：30～15：00)
奈 良 光 彦 (医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)
長 谷 川 諒 (医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)
宮　部　結 (医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)
肥塚慶之助 (医員、仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8：30～17：00)
高 橋 琴 乃 (医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00)

3. **授業のねらい及び概要（学修目標）**

主訴と病歴および患者背景から臨床的問題点を抽出し、可能性のある疾患・病態を列挙でき、適切な臨床検査を選択できる。(3-2～3-3, 4-1～4-2)
さらに、本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）, EBM について説明・実践できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4)

4. **教科書・参考書**

5. **成績評価の方法**

出席、発表および課題提出

6. **授業時間外の学習内容・その他・メッセージ**

受入予定人数：6 名
診断学、検査学、一般内科を予習しておくとよい。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	6 月 29 日 (月)	1-2 時限	グループ学習	テーマ：オリエンテーション 実習の概要について説明する	植木重治	南臨床研究棟４ F
2	6 月 29 日 (月)	3-4 時限	グループ学習	テーマ：ケース・スタディ１ 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	植木重治	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
3	6 月 29 日 (月)	5-6 時限	グループ学習	テーマ：ケース・スタディ２ 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	引地悠	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
4	6 月 29 日 (月)	7-8 時限	グループ学習	テーマ：総合診療カンファランス 総合診療部カンファランスへ参加し、総合的な症状に対する診断アプローチや基本的な臨床検査データを理解し、解釈できる	植木重治	中央検査部カンファランス室
5	6 月 29 日 (月)	9-10 時限	グループ学習	テーマ：ケース・スタディ3 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	守時由起	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
6	6 月 30 日 (火)	1-2 時限	グループ学習	テーマ：ケーススタディ4 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	嵯峨知生	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
7	6 月 30 日 (火)	3-4 時限	グループ学習	テーマ：ケース・スタディ5 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	嵯峨亜希子	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
8	6 月 30 日 (火)	5-6 時限	グループ学習	テーマ：ケース・スタディ6 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	肥塚慶之助	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
9	6 月 30 日 (火)	7-8 時限	グループ学習	テーマ：ケース・スタディ7 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる	長谷川諒	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
10	6 月 30 日 (火)	9-10 時限	自主学習	テーマ：プレゼンテーション 準備	植木重治	血液骨髄形態検査室／中央検査部カンファランス室
11	7 月 1 日 (水)	1-2 時限	グループ学習	テーマ：ポートフォリオ発表 実習の振り返りと課題の発表を行う	植木重治	南臨床研究棟 4F
12	7 月 1 日 (水)	3-4 時限	全体討議	テーマ：フィードバック 実習の目標達成に必要な問題解決や成長促進を目的としたコメントを行う	植木重治	南臨床研究棟 4F

学則の変更の趣旨ー76

令和 8 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分　　類：臨床医学 VI (CC2)
授業科目名：秋田県研修病院実習（clinical clerkship in training hospitals in Akita Prefecture）－卒後臨床研修病院における診療参加型臨床実習で幅広い経験を積み、総合的な診療能力を向上する－
対 象 学 年：5 年次 必修
時間割コード：71643002-30

1. **主任教員**

   学務委員長 ()

2. **担当教員**

   学務委員長 ()

3. **授業のねらい及び概要（学修目標）**

   ねらい

   学内における 1 年間の診療参加型臨床実習（CC1）の終了後、5 年次後期からの CC2 開始時に、医学教育の集大成として第一線の臨床現場である秋田県内の卒後臨床研修に関わる医療機関で臨床実習する。この実習により、地域医療連携を含めた医師としての幅広い経験を積み、将来、どの分野に進んでも大切な総合的な診療能力を向上させるとともに、卒後臨床研修に向けての学修意識を高める。さらに、実習経験を通じて、プロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBM に関する実践力を幅広く向上する。

   学修目標

   秋田県内の卒後臨床研修病院を中心とした実習協力病院で 3 週間の地域実習を 5 年生全員が同時に行う。CC1 の経験を生かし、上級医の指導の下で研修医とともに主治医チームの一員として診療に参加するなど、学生実習で認められる範囲で積極的に入院あるいは外来診療・地域医療連携（地域包括ケア）を経験し、総合的な診療能力および患者や各医療従事者とのコミュニケーション力を向上させる。さらに、この時期に、各医療機関における卒後臨床研修を意識した実習を経験することにより、その後、CC2 期間の診療参加型臨床実習に取り組むモチベーションを上げる。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

   1. 主要症候や病態に対して十分な医療面接、身体診察による臨床推論および初期対応ができる。
   2. 系統だった臨床検査、画像検査が適切に提案できる。
   3. 正確で系統だった症例提示とカルテ記載ができる。
   4. 一般的な急性・慢性疾患や病態に対して治療方針の提案など適切に対応できる。
   5. EBM の意義を正確に理解して問題解決のために実践できる。
   6. 患者さんとラポールを形成するような人間関係が構築できる。
   7. 広義のチーム医療、多職種連携の重要性を理解し実践できる。
   8. 地域医療連携、地域包括ケア、予防医学に関する知識があり実践できる。
   9. 各種医療制度を理解し、介護保険等、一般的な書類記載内容について指導医に提案できる。
   10. 卒後臨床研修を意識して診療参加型臨床実習を充実することができる。
   11. ICT を活用した的確な情報収集ができる
   12. これらの実習経験を通じて、医師のプロフェッシナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBM に関する実践力、様々な患者背景を考慮した総合的な診療能力を幅広く向上する。

4. **教科書・参考書**

   手引き※後日配付予定
   各病院における推薦図書

5. **成績評価の方法**

   各受入病院の臨床教授等による評価, 提出実習レポート評価, 実習出席状況及び実習態度を評価する。ＣＣ－ＥＰＯＣの入力状況も評価対象となる。

学則の変更の趣旨ー77

6. **授業時間外の学習内容・その他・メッセージ**

※本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である。

令和 8 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分　　類：臨床医学 VI (CC2)
授 業 科 目 名：地域医療実習（Community medicine training）
対 象 学 年：5 年次 必修
時間割コード：71644006-28

1. **主任教員**

学務委員長 ()

2. **担当教員**

学務委員長 ()

3. **授業のねらい及び概要（学修目標）**

ねらい

これからの社会では、どのような分野や医療機関の医師にとっても、医療連携を必要とするすべての患者さんや家族が、心身ともに安心して医療を継続的に受けられるように、診療を行う各地区における地域包括ケア・医療連携を考慮した全人的医療が必須となる。

本プログラムは、学内における 1 年間の診療参加型臨床実習（CC1）が終了した後に、1〜2 名単位で 4〜5 週間にわたり、県内 2 次医療圏の各地域医療機関における診療参加型臨床実習を行う。これにより CC1 の経験を生かして、基本的な診療能力を向上するとともに、地域包括ケアシステムと多職種連携の重要性、地域医療の魅力とやりがいを理解し、将来、医師として様々な形で地域医療連携に関わっていくための総合的な診療実践力を修得する。さらには、これらの実習経験を通じて、医師のプロフェッシナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、EBM、医療制度についての実践力を向上する。

学修目標　（1-1〜1-2、2-1〜2-8、3-1〜3-7、4-1〜4-8、5-1〜5-5、6-1〜6-2）

１．地域医療・プライマリケアにおける主要症候・病態に対して十分な医療面接、身体診察による臨床推論、初期対応ができる。
２．系統だった臨床検査、画像検査が適切に提案できる。
３．正確で系統だった症例提示とカルテ記載ができる。
４．一般的な急性・慢性疾患や病態に対して治療方針の提案など適切に対応できる。
５．EBM の意義を正確に理解して問題解決のために実践できる。
６．患者・家族とラポールを形成するような人間関係が構築できる。
７．在宅医療・地域包括ケアにおける広義のチーム医療・多職種連携の重要性を理解し実践できる。
８．死生観や ACP（Advance Care Planning）について理解し、地域包括ケアの際に検討できる。
９．予防医学に関する知識があり実践できる。
１０．介護保険等の一般的な書類を記載し、指導医に提案できる。
１１．地域医療の魅力とやりがいを理解し実践できる。
１２．ICT を活用した的確な情報収集ができる
１３．地域医療実習経験を通じて、医師のプロフェッシナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBM に関する実践力、様々な患者背景を考慮した総合的な診療能力を幅広く向上する。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. **教科書・参考書**

実習手引き※後日配付
各病院における推薦図書など

5. **成績評価の方法**

各受入病院の臨床教授等による評価, 提出実習レポート評価, 実習出席状況及び実習態度を評価する。CC-EPOC の入力状況も評価対象となる。

6. **授業時間外の学習内容・その他・メッセージ**

※本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である

令和 8 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分　　類：臨床医学 VII (CC2)
授 業 科 目 名：地域医療実習（Community medicine training）
対 象 学 年：6 年次 必修
時間割コード：71644006-28

1. **主任教員**

学務委員長 ()

2. **担当教員**

学務委員長 ()

3. **授業のねらい及び概要（学修目標）**

ねらい

これからの社会では、どのような分野や医療機関の医師にとっても、医療連携を必要とするすべての患者さんや家族が、心身ともに安心して医療を継続的に受けられるように、診療を行う各地区における地域包括ケア・医療連携を考慮した全人的医療が必須となる。

本プログラムは、学内における 1 年間の診療参加型臨床実習（CC1）が終了した後に、1〜2 名単位で 4〜5 週間にわたり、県内 2 次医療圏の各地域医療機関における診療参加型臨床実習を行う。これにより CC1 の経験を生かして、基本的な診療能力を向上するとともに、地域包括ケアシステムと多職種連携の重要性、地域医療の魅力とやりがいを理解し、将来、医師として様々な形で地域医療連携に関わっていくための総合的な診療実践力を修得する。さらには、これらの実習経験を通じて、医師のプロフェッシナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、EBM、医療制度についての実践力を向上する。

学修目標　（1-1〜1-2、2-1〜2-8、3-1〜3-7、4-1〜4-8、5-1〜5-5、6-1〜6-2）

１．地域医療・プライマリケアにおける主要症候・病態に対して十分な医療面接、身体診察による臨床推論、初期対応ができる。
２．系統だった臨床検査、画像検査が適切に提案できる。
３．正確で系統だった症例提示とカルテ記載ができる。
４．一般的な急性・慢性疾患や病態に対して治療方針の提案など適切に対応できる。
５．EBM の意義を正確に理解して問題解決のために実践できる。
６．患者・家族とラポールを形成するような人間関係が構築できる。
７．在宅医療・地域包括ケアにおける広義のチーム医療・多職種連携の重要性を理解し実践できる。
８．死生観や ACP（Advance Care Planning）について理解し、地域包括ケアの際に検討できる。
９．予防医学に関する知識があり実践できる。
１０．介護保険等の一般的な書類を記載し、指導医に提案できる。
１１．地域医療の魅力とやりがいを理解し実践できる。
１２．ICT を活用した的確な情報収集ができる
１３．地域医療実習経験を通じて、医師のプロフェッシナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBM に関する実践力、様々な患者背景を考慮した総合的な診療能力を幅広く向上する。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. **教科書・参考書**

実習手引き※後日配付
各病院における推薦図書など

5. **成績評価の方法**

各受入病院の臨床教授等による評価, 提出実習レポート評価, 実習出席状況及び実習態度を評価する。CC-EPOC の入力状況も評価対象となる。

6. **授業時間外の学習内容・その他・メッセージ**

※本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である

医 人 材 － ２ ４ ７
令和８年８月１７日

厚生労働省医政局長　殿

秋田県健康福祉部長
（ 公 印 省 略 ）

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和８年８月７日付け８文科高第 732 号、医政発 0807 第１号に基づき、下記のとおり、令和９年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

２９名

・秋田大学医学部における地域枠：２９名

担当　　：医務薬事課医療人材対策室　藤田
電話番号：０１８－８６０－１４１０
メールアドレス：ishikakuho@pref.akita.lg.jp

資料４

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分	授業科目の名称		配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門科目	基礎医学Ⅰ	細胞の構成と機能Ⅰ	1前	○	0.5			○			1	0	1	0	0	0	
	基礎医学Ⅰ	生体物質の代謝Ⅰ	1前	○	0.5			○			1	1	0	2	0	0	
	基礎医学Ⅱ	細胞の構成と機能Ⅱ	1後	○	0.5			○			1	0	1	0	0	0	
	基礎医学Ⅱ	生体物質の代謝Ⅱ	1後	○	1			○			1	0	0	2	0	0	
	基礎医学Ⅱ	人体解剖学入門，骨学実習	1後	○	1			○			1	1	0	1	0	3	※実習
	基礎医学Ⅱ	個体の発生	1後	○	1			○			1	0	1	2	0	3	
	基礎医学Ⅱ	個体・細胞の分子生化学	1後	○	1			○			2	1	0	1	0	0	
	基礎医学Ⅱ	生体分子解析学実習	1後	○	2					○	2	1	0	3	0	0	
	医療・社会・行動科学Ⅰ	医療行動科学	1後	○	3			○			2	0	0	0	0	2	
	基礎医学Ⅲ	個体の構成，人体解剖学実習	2前	○	8			○			1	1	0	1	0	6	※実習
	基礎医学Ⅲ	組織学，組織学実習	2前	○	3			○			1	0	1	2	0	0	※実習
	基礎医学Ⅲ	臓器の機能Ⅰ	2前	○	4			○			2	0	1	0	0	0	
	基礎医学Ⅳ	臓器の機能Ⅱ	2後	○	1			○			2	0	1	0	0	0	
	基礎医学Ⅳ	生体と微生物	2後	○	1			○			1	1	1	1	0	0	
	基礎医学Ⅳ	免疫と生体防御	2後	○	1			○			2	0	1	0	0	0	
	基礎医学Ⅳ	生体と薬物	2後	○	2			○			1	0	1	0	0	0	
	基礎医学Ⅳ	生体と放射線・電磁波・超音波	2後	○	0.5			○			1	0	1	2	0	1	
	基礎医学Ⅳ	原因と病態，病理学実習	2後	○	4			○			3	1	1	3	0	8	※実習
	基礎医学Ⅳ	生体機能学実習	2後	○	2					○	3	0	0	0	0	1	
	基礎医学Ⅳ	感染症・生体防御学実習	2後	○	2					○	2	0	2	1	0	0	※講義
	医療・社会・行動科学Ⅱ	環境と健康	2後	○	1			○			1	1	0	3	0	2	
	医療・社会・行動科学Ⅱ	医の倫理と原則	2後	○	1			○			2	0	0	0	0	2	
	医療・社会・行動科学Ⅱ	地域医療・コミュニケーションとチーム医療	2後	○	1			○			1	0	1	0	0	4	
	基礎医学アドバンスコース	細胞生物学	2後	○		1		○			1	0	1	2	0	1	
	基礎医学アドバンスコース	生体防御学	2後	○		1		○			1	0	1	0	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	器官・統合生理学	2後	○		1		○			1	0	1	0	0	1	
	基礎医学アドバンスコース	微生物学	2後	○		1		○			1	0	0	0	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	細胞生理学	2後	○		1		○			1	0	0	0	0	1	
	基礎医学アドバンスコース	病理学Ⅰ	2後	○		1		○			1	0	0	1	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	病理学Ⅱ	2後	○		1		○			1	0	0	2	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	分子機能学・代謝機能学	2後	○		1		○			1	0	0	2	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	形態解析学・器官構造学	2後	○		1		○			1	1	0	0	0	4	
	基礎医学アドバンスコース	情報制御学・実験治療学	2後	○		1		○			1	0	1	0	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	分子生化学	2後	○		1		○			1	1	0	1	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	衛生学・公衆衛生学	2後	○		1		○			0	1	0	0	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	医学教育学Ⅰ	2後	○		1		○			1	1	0	0	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	医療情報学	2後	○		1		○			1	0	0	3	0	0	
	基礎医学アドバンスコース	医学教育学Ⅱ	2後	○		1			○		1	1	1	0	0	0	
	研究配属	研究配属	3前	○	6			○			15	0	0	0	0	0	
	医療・社会・行動科学Ⅲ	疫学と予防医学	3後	○	1			○			1	0	0	3	0	0	
	医療・社会・行動科学Ⅲ	生活習慣病と臨床研究	3後	○	1			○			3	1	1	3	0	5	
	医療・社会・行動科学Ⅲ	保健と福祉の制度	3後	○	1			○			2	0	0	3	0	3	
	医療・社会・行動科学Ⅲ	社会医学実習	3後	○	1					○	1	0	0	3	0	0	※講義
	医療・社会・行動科学Ⅲ	感染症・感染防御	3後	○	1			○			3	2	5	5	0	10	
	臨床医学Ⅰ	循環器	3前	○	3			○			4	3	2	4	0	11	
	臨床医学Ⅰ	呼吸器	3前	○	2			○			3	1	3	9	0	2	
	臨床医学Ⅰ	消化器	3前	○	3			○			4	0	1	4	0	1	
	臨床医学Ⅰ	腎	3後	○	1					○	1	0	2	4	0	10	
	臨床医学Ⅰ	尿路・男性生殖器	3後	○	1			○			3	2	1	7	0	4	
	臨床医学Ⅱ	加齢と老化，内分泌・栄養・代謝	3前	○	2.5			○			1	0	3	2	0	0	
	臨床医学Ⅱ	神経	3後	○	3			○			1	0	0	3	0	4	
	臨床医学Ⅱ	運動器（筋骨格）	3後	○	2			○			0	2	0	4	0	3	
	臨床医学Ⅱ	血液・造血器・リンパ	3後	○	2			○			5	3	0	1	0	1	
	臨床医学Ⅱ	リハビリテーション	3後	○	1			○			1	0	0	0	0	3	
	臨床医学Ⅱ	乳房	3後	○	0.5			○			3	1	2	1	0	1	
	臨床医学Ⅱ	女性生殖器	3後	○	1			○			2	0	0	3	0	3	
	臨床医学Ⅱ	免疫・アレルギー疾患・膠原病	3後	○	1			○			1	0	1	1	0	2	
	臨床医学Ⅱ	腫瘍	3後	○	0.5			○			2	1	0	0	0	6	
	臨床医学Ⅱ	妊娠と分娩	3後	○	1			○			1	1	4	5	0	4	
	臨床医学Ⅱ	成長と発達	3後	○	2			○			3	3	0	3	0	3	
	臨床医学Ⅱ	耳鼻・咽喉・口腔	3後	○	1			○			1	1	1	0	0	4	
	臨床医学Ⅱ	放射線診断と治療	3後	○	1				○		1	0	1	5	0	3	
	医療・社会・行動科学Ⅳ	診療情報	4前	○	0.5			○			1	1	0	1	0	1	
	医療・社会・行動科学Ⅳ	人の死・死と法	4前	○	1			○			1	1	0	1	0	9	
	医療・社会・行動科学Ⅳ	医療における安全性確保	4前	○	0.5			○			2	1	1	0	0	2	
	臨床医学アドバンスコース	血液・腎臓・膠原病内科学	4前	○		0.5		○			1	1	2	5	0	1	
	臨床医学アドバンスコース	放射線医学	4前	○		0.5		○			1	0	0	2	0	1	
	臨床医学アドバンスコース	精神科学	4前	○		0.5		○			1	1	0	4	0	6	
	臨床医学アドバンスコース	皮膚科学・形成外科学	4前	○		0.5		○			1	0	0	5	0	0	
	臨床医学アドバンスコース	総合診療・検査診断学	4前	○		0.5		○			1	2	0	2	0	5	
	臨床医学アドバンスコース	麻酔・蘇生・疼痛管理学　心肺脳蘇生セミナー	4前	○		0.5		○			1	1	0	1	0	5	
	臨床医学アドバンスコース	代謝・内分泌内科学	4前	○		0.5		○			1	0	1	1	0	0	

学則の変更の趣旨ー84

臨床医学アドバンスコース	小児科学	4前	○		0.5		○			1	1	2	0	0	2	
臨床医学アドバンスコース	循環器内科学	4前	○		0.5		○			1	0	3	2	0	0	
臨床医学アドバンスコース	臨床腫瘍学	4前	○		0.5		○			3	1	2	1	0	0	
臨床医学アドバンスコース	呼吸器内科学	4前	○		0.5		○			1	1	1	2	0	0	
臨床医学アドバンスコース	整形外科学	4前	○		0.5		○			2	2	2	7	0	3	
臨床医学アドバンスコース	心臓血管外科学	4前	○		0.5		○			1	0	1	2	0	1	
臨床医学アドバンスコース	救急・集中治療医学	4前	○		0.5		○			1	1	0	1	0	0	
臨床医学アドバンスコース	消化器外科学・消化器内科学・腫瘍内科学・放射線科学・食道外科学	4前	○		1		○			4	0	2	4	0	7	
臨床医学アドバンスコース	眼科学	4前	○		0.5		○			1	0	0	1	0	2	
臨床医学アドバンスコース	胸部外科学Ⅰ	4前	○		0.5		○			1	0	1	2	0	2	
臨床医学アドバンスコース	胸部外科学Ⅱ	4前	○		0.5		○			1	0	0	0	0	4	
臨床医学アドバンスコース	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	4前	○		0.5		○			1	1	0	3	0	2	
臨床医学アドバンスコース	小児外科学	4前	○		0.5		○			0	0	0	2	0	0	
臨床医学アドバンスコース	脳神経外科学	4前	○		0.5			○		0	0	2	1	0	0	
臨床医学アドバンスコース	腎泌尿器科学	4前	○		0.5		○			0	2	0	4	0	0	
臨床医学アドバンスコース	産婦人科学	4前	○		0.5		○			1	2	2	2	0	0	
臨床医学アドバンスコース	リハビリテーション	4前	○		0.5		○			0	1	0	1	0	1	
臨床医学アドバンスコース	歯科口腔外科学	4前	○		0.5		○			0	1	0	4	0	0	
臨床医学Ⅲ	精神	4前	○	2			○			1	1	0	6	0	1	
臨床医学Ⅲ	皮膚	4前	○	1			○			1	0	0	0	0	4	
臨床医学Ⅲ	眼・視覚	4前	○	1			○			1	0	0	0	0	10	
臨床医学Ⅲ	麻酔	4前	○	0.5			○			1	1	0	3	0	5	
臨床医学Ⅲ	薬物治療の基本原理	4前	○	1			○			5	0	2	3	0	1	
臨床医学Ⅲ	外科治療と周術期管理	4前	○	0.5			○			3	0	4	2	0	1	
臨床医学Ⅲ	救急疾患	4前	○	0.5			○			1	1	0	5	0	0	
臨床医学Ⅲ	物理・化学的因子による疾患	4前	○	0.5			○			1	1	0	5	0	0	
臨床医学Ⅲ	総合診療・臨床検査	4前	○	1			○			1	2	0	5	0	9	
臨床医学Ⅲ	基本的診療技能	4前	○	4			○			1	0	0	0	0	0	
臨床医学Ⅳ	医学医療総合講義Ⅰ	4後	○	2			○			1	0	0	0	0	0	
臨床医学Ⅴ	医学医療総合講義Ⅱ	5前	○	2			○			1	0	0	0	0	0	
臨床医学Ⅳ	臨床実習Ⅰ	4後	○	20					○	27	17	22	80	0	22	
臨床医学Ⅴ	臨床実習Ⅱ	5前	○	14					○	27	17	22	80	0	22	
臨床医学Ⅵ	臨床実習Ⅲ	5後	○	26					○	24	16	20	67	0	21	
臨床医学Ⅶ	臨床実習Ⅳ	6前	○	14			○			24	16	20	67	0	21	
小計（106　科目）		―	―	174	28		―			261	127	158	492	0	293	
教養教育科目（自由選択）	教養ゼミナール１（現代社会）－社会的諸課題と学問－	休講														
	教養ゼミナール１（現代社会）－リフレクション（省察）入門－	1②			1		○								1	
	教養ゼミナール１（現代社会）－宗教と文化と政治：紛争から平和にむけて－	1①			1		○								1	
	教養ゼミナール２	休講														
	法学入門Ⅰ	1①			1		○								1	メディア
	法学入門Ⅱ	1②			1		○								1	メディア
	日本国憲法Ⅰ	1①			1		○								1	メディア
	日本国憲法Ⅱ	1②			1		○								1	メディア
	ものづくりと知的財産	休講														
	現代社会と経済Ⅰ	1①			1		○								1	
	現代社会と経済Ⅱ	休講														
	現代社会と経済Ⅲ	1①			1		○								1	メディア
	現代社会と経済Ⅳ	1②			1		○								1	メディア
	現代社会と経済Ⅴ	1③			1		○								1	メディア
	現代社会と経済Ⅵ	1④			1		○								1	メディア
	現代社会と企業経営Ⅰ	1①			1		○								1	
	現代社会と企業経営Ⅱ	1②			1		○								1	
	現代社会と政治Ⅰ	1①			1		○								1	
	現代社会と政治Ⅱ	1②			1		○								1	
	国際政治経済Ⅰ	1①			1		○								1	メディア
	国際政治経済Ⅱ	1②			1		○								1	メディア
	社会と家族Ⅰ	1③			1		○								1	メディア
	社会と家族Ⅱ	1④			1		○								1	メディア
	倫理リテラシーⅠ	1①			1		○								1	
	倫理リテラシーⅡ	1②			1		○								1	
	男女共同参画社会論	1③			1		○								2	※演習・メディア
	社会と地域Ⅰ	1①			1		○								1	メディア
	社会と地域Ⅱ	1②			1		○								1	メディア
	観光学入門Ⅰ	休講														
	観光学入門Ⅱ	休講														
	地誌学入門Ⅰ	1①			1			○							1	※実習
	地誌学入門Ⅱ	1②			1			○							1	※実習
	金融リテラシー講座Ⅰ	1①			1		○								1	
	金融リテラシー講座Ⅱ	1②			1		○								1	
	教養ゼミナール１（人間と文化）－音楽文化の過去と現在－	1①			1		○								1	
	教養ゼミナール１（人間と文化）－実験で学ぶ食と生物学－	1②			1				○						1	メディア
	教養ゼミナール１（人間と文化）－国語教育から多様性（diversity）を考える－	1③			1		○								1	※演習
	教養ゼミナール１（人間と文化）－ドイツ語圏の音楽と文化－	1③			1		○								1	
	教養ゼミナール１（人間と文化）－学習意欲の科学への招待－	1③			1		○								1	※演習
	教養ゼミナール１（人間と文化）－絵にふれる、絵を語る－	1①			1		○								1	
	教養ゼミナール１（人間と文化）－『ロミオとジュリエット』を読む－	1①			1		○								1	
	教養ゼミナール１（人間と文化）－イギリス児童文学の世界－	1③			1		○								1	※演習
	教養ゼミナール２	休講														
	心理学Ⅰ	1①			1		○								1	
	心理学Ⅱ	1②			1		○								1	
	人間関係論Ⅰ	休講														
	人間関係論Ⅱ	休講														
	日本の近現代文学Ⅰ	1③			1		○								1	
	日本の近現代文学Ⅱ	1④			1		○								1	

日本語表現の諸相Ⅰ	休講														
日本語表現の諸相Ⅱ	休講														
現代社会と教育Ⅰ	1③			1		○								1	
現代社会と教育Ⅱ	1④			1		○								1	
子ども家庭支援論Ⅰ	1③			1		○								1	※演習
子ども家庭支援論Ⅱ	1④			1		○								1	※演習
障害者と社会参加の基礎	休講														※演習
障害者と社会参加の実践	休講														※演習
芸術と文化Ⅰ	1①			1		○								1	
芸術と文化Ⅱ	1②			1		○								1	
情報デザインⅠ	1①			1		○								1	メディア
情報デザインⅡ	1②			1		○								1	メディア
哲学入門Ⅰ	1③			1		○								1	
哲学入門Ⅱ	1④			1		○								1	
西洋社会の歴史Ⅰ	休講														
西洋社会の歴史Ⅱ	休講														
科学史入門Ⅰ	1①			1		○								1	※演習
科学史入門Ⅱ	1②			1		○								1	※演習
多文化コミュニケーション入門Ⅰ	1①			1			○							1	
多文化コミュニケーション入門Ⅱ	1②			1			○							1	
多文化コミュニケーション入門Ⅲ	1③			1			○							1	
多文化コミュニケーション入門Ⅳ	1④			1			○							1	
日本文化入門Ⅰ	1①			1			○							1	
日本文化入門Ⅱ	1②			1			○							1	
日本文化入門Ⅲ	1③			1			○							1	
日本文化入門Ⅳ	1④			1			○							1	
日本社会入門Ⅰ	1①			1		○								1	
日本社会入門Ⅱ	1②			1		○								1	
日本社会入門Ⅲ	1③			1		○								1	
日本社会入門Ⅳ	1④			1		○								1	
日本語教育学入門Ⅰ	1①			1		○								1	
日本語教育学入門Ⅱ	1②			1		○								1	
日本語教育学入門Ⅲ	1③			1		○								1	
日本語教育学入門Ⅳ	1④			1		○								1	
Introduction to Participatory WorkshopsⅠ	1①			1		○								1	
Introduction to Participatory WorkshopsⅡ	1②			1		○								1	
Introduction to Participatory WorkshopsⅢ	1③			1		○								1	※実習
Introduction to Participatory WorkshopsⅣ	1④			1		○								1	※実習
Japanese in Indonesia(1600-1945)	1③			1		○								1	
Modern Indonesian History	1④			1		○								1	
インドネシア語入門Ⅰ	1①			2			○							1	
インドネシア語入門Ⅱ	1②			2			○							1	
Japanese Culture	1①			1		○								1	
Japanese Thought	1③			1		○								1	
教養ゼミナール１（科学の探究）－生活の中の数と図形－	休講														※演習
教養ゼミナール１（科学の探究）－気候変動と環境問題－	1③														
教養ゼミナール１（科学の探究）－量子力学の世界－	1③			1		○								1	
教養ゼミナール１（科学の探究）－熱の流れを科学する数値伝熱学－	1④			1		○								1	
教養ゼミナール２	休講														
化学の発明における成功と失敗の歴史	1①			1		○								1	
天体観測入門	休講														※実習
地球の環境と資源Ⅰ	1①			1		○								2	
地球の環境と資源Ⅱ	1②			1		○								2	
地球の環境と資源Ⅲ	1①			1		○								1	メディア
ライフサイエンスⅠ	1①			1		○								1	メディア
ライフサイエンスⅡ	1①			1		○								1	※演習
化学の世界	休講														
材料の世界	1②			1		○								4	メディア
コンピュータの科学Ⅰ	1①			1		○								2	
コンピュータの科学Ⅱ	1②			1		○								2	
はじめての天文学	1②			1		○								1	メディア
自然環境と住まいⅠ	1③			1		○								1	
自然環境と住まいⅡ	1④			1		○								1	
温泉科学概論Ⅰ	休講														
温泉科学概論Ⅱ	休講														
自然地理学入門Ⅰ	1①			1		○								1	メディア
自然地理学入門Ⅱ	1②			1		○								1	メディア
Environment and engineering	1③			1		○								1	
情報学入門	1①			1		○								1	※演習
ＡＩ学入門	1②			1		○								1	※演習
教養ゼミナール１（生活と保健）－超高齢社会の医療と保健・福祉－	1①			1		○								1	
教養ゼミナール１（生活と保健）－からだへの気づき－	1②			1		○								1	※実習
教養ゼミナール１（生活と保健）－人間関係と暴力（DV・虐待）－	休講														メディア
教養ゼミナール１（生活と保健）－バーチャル国際交流－	1③			1		○								5	
教養ゼミナール１（生活と保健）－医療DXと過疎地域の遠隔医療－	1③			1		○								2	
教養ゼミナール２	休講														
食と健康Ⅰ	1①			1		○								1	メディア
食と健康Ⅱ	1②			1		○								1	メディア
医学と健康Ⅰ	1①			1		○			1	2	1	4			メディア
医学と健康Ⅱ	1③			1		○			1		1	1		4	メディア
医学と健康Ⅲ	1①			1		○			4	3		1			メディア
医学と健康Ⅳ	1②			1		○			1						
がん医療と緩和ケア	1③			2		○			3	1	1	1			メディア
大学生と健康	1①			2		○								1	メディア

生命と健康Ⅰ	1③			1		○			1						
生命と健康Ⅱ	休講														
臨床医学入門Ⅰ	1①			1		○			1						
臨床医学入門Ⅱ	1②			1		○			1						
グローバル・ヘルスとトラベル・メディスン	1②			1		○			2	1		2		1	メディア
教養ゼミナール１（地域志向・キャリア形成）－地域医療の問題点－	1①			1		○			1						
教養ゼミナール１（地域志向・キャリア形成）－雪国防災学入門－	1④			1		○								1	※実習
教養ゼミナール２	休講														
秋田の歴史Ⅰ	1①			1		○								1	
秋田の歴史Ⅱ	1②			1		○								1	
秋田の自然と文化	1②			1		○								8	
防災学基礎	1②			1		○								1	
農村地理学入門Ⅰ	休講														
農村地理学入門Ⅱ	休講														
キャリアデザイン基礎	1②			1		○								1	
起業力養成ゼミナールⅠ	1①			1		○								1	※演習
起業力養成ゼミナールⅡ	1②			1		○								1	※演習
起業力養成ゼミナールⅢ	休講														※演習
スタートアップ実践	1③			1			○							2	
地域キャリアデザイン	1②			1		○								1	
超高齢社会と健康寿命	1④			1		○			2					8	※演習・メディア
秋田の産業	1③			1		○								1	※演習・メディア
秋田の再生可能エネルギー	1②			1		○								1	
地方創生ＤＸ基礎１	1①			1		○								3	
地方創生ＤＸ基礎２	1②			1		○								3	
地方創生ＤＸ基礎実践	1③			1			○							3	
秋田から考える東北半導体/エレクトロニクスⅠ	1①			1		○								1	
秋田から考える東北半導体/エレクトロニクスⅡ	1②			1		○								1	
教養ゼミナール１（技能の活用）－英語で楽しむものづくり－	1①			1		○								1	
教養ゼミナール１（ネイチャー写真入門）－	休講														
教養ゼミナール２	休講														
日本語リテラシーⅠ	1①			1		○								1	※実習
日本語リテラシーⅡ	1②			1			○							3	
日本語リテラシーⅢ	1③			1			○							2	
日本語リテラシーⅣ	1④			1			○							2	
秋田大学論	1②			1		○								8	メディア
情報と知識・技術	1②			1		○								1	
フィールド活動の基礎Ⅰ	1③			1		○								1	
フィールド活動の基礎Ⅱ	1④			1		○								1	
留学生のための課題研究Ⅰ	1③			1		○								1	
留学生のための課題研究Ⅱ	1④			1		○								1	
留学生のための課題研究Ⅲ	1①			1		○								1	
留学生のための課題研究Ⅳ	1②			1		○								1	
鉱業博物館業務体験	1通			1				○						1	
学外活動体験Ⅰ	休講														
学外活動体験Ⅱ	休講														
学外活動体験Ⅲ	休講														
大学英語Ⅰ	休講														
大学英語Ⅱ	休講														
大学英語Ⅲ	休講														
大学英語Ⅳ	休講														
ドイツ語Ⅰ	1①			1			○							1	
ドイツ語Ⅱ	1②			1			○							1	
フランス語Ⅰ	1①			1			○							1	
フランス語Ⅱ	1②			1			○							1	
ロシア語Ⅰ	1①			1			○							1	
ロシア語Ⅱ	1②			1			○							1	
中国語Ⅰ	1①			1		○								1	※演習
中国語Ⅱ	1②			1		○								1	※演習
朝鮮語Ⅰ	1①			1		○								1	
朝鮮語Ⅱ	1②			1		○								1	
日本語１－１	1①			2		○								1	※演習
日本語１－２	1②			2		○								1	※演習
文系英会話Ⅰ	1①			1			○							1	※演習
文系英会話Ⅱ	1②			1			○							1	※演習
理系英会話Ⅰ	1①			1			○							1	※演習
理系英会話Ⅱ	1②			1			○							1	※演習
大学英語Ⅴ	休講														
大学英語Ⅵ	休講														
英語特別演習Ⅰ	1①			0.5			○							1	※演習
英語特別演習Ⅱ	1②			0.5			○							1	※演習
英語特別演習Ⅲ	1③			0.5			○							1	※演習
英語特別演習Ⅳ	1④			0.5			○							1	※演習
ドイツ語Ⅲ	1③			1			○							1	
ドイツ語Ⅳ	1④			1			○							1	
フランス語Ⅲ	1③			1			○							1	
フランス語Ⅳ	1④			1			○							1	
ロシア語Ⅲ	1③			1		○								1	
ロシア語Ⅳ	1④			1		○								1	
中国語Ⅲ	1③			1		○								1	※演習
中国語Ⅳ	1④			1		○								1	※演習
朝鮮語Ⅲ	1③			1		○								1	
朝鮮語Ⅳ	1④			1		○								1	
日本語２－１	1①			2		○								1	※演習

日本語２－２	1②			2		○								1	※演習
日本語２総合１	1①			0.5			○							1	
日本語２総合２	1②			0.5			○							1	
ドイツ語会話Ⅰ	1①			0.5			○							2	メディア
ドイツ語会話Ⅱ	1①			0.5			○							2	メディア
フランス語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	メディア
フランス語会話Ⅱ	1①			0.5			○							1	メディア
ロシア語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
ロシア語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
中国語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
中国語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
朝鮮語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
朝鮮語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
実践ドイツ語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
実践ドイツ語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
実践ドイツ語会話Ⅲ	休講														
実践ドイツ語会話Ⅳ	休講														
実践中国語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
実践中国語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
実践中国語会話Ⅲ	2③			0.5			○							1	
実践中国語会話Ⅳ	2④			0.5			○							1	
実践朝鮮語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
実践朝鮮語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
実践朝鮮語会話Ⅲ	2③			0.5			○							1	
実践朝鮮語会話Ⅳ	2④			0.5			○							1	
実践フランス語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
実践フランス語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
実践フランス語会話Ⅲ	2③			0.5			○							1	
実践フランス語会話Ⅳ	2④			0.5			○							1	
実践ロシア語会話Ⅰ	1①			0.5			○							1	
実践ロシア語会話Ⅱ	1②			0.5			○							1	
実践ロシア語会話Ⅲ	2③			0.5			○							1	
実践ロシア語会話Ⅳ	2④			0.5			○							1	
日本語３－１	1①			2			○							1	
日本語３－２	1②			2			○							1	
日本語３総合１	1①			0.5		○								1	
日本語３総合２	1②			0.5		○								1	
臨床心理学外国語文献演習Ⅰ	休講														
臨床心理学外国語文献演習Ⅱ	休講														
生理心理学文献購読Ⅰ	休講														
生理心理学文献購読Ⅱ	1前			1		○								1	
精神生理学文献購読Ⅰ	休講														
精神生理学文献購読Ⅱ	休講														
発達心理学外国語文献演習Ⅰ	1③			1			○							1	
発達心理学外国語文献演習Ⅱ	1④			1			○							1	
認知心理学外国語文献演習Ⅰ	休講														
認知心理学外国語文献演習Ⅱ	休講														
日本語４－Ⅰ－１（会話）	1①			0.5			○							2	
日本語４－Ⅰ－２（会話）	1②			0.5			○							2	
日本語４－Ⅰ－１（漢字）	1①			0.5			○							2	
日本語４－Ⅰ－２（漢字）	1②			0.5			○							2	
日本語４－Ⅱ－１（会話）	1③			0.5			○							2	
日本語４－Ⅱ－２（会話）	1④			0.5			○							2	
日本語４－Ⅱ－１（漢字）	1③			0.5			○							2	
日本語４－Ⅱ－２（漢字）	1④			0.5			○							2	
日本語４－Ⅲ－１	1①			1			○							1	
日本語４－Ⅲ－２	1②			1			○							1	
日本語４－Ⅳ－１	1③			1			○							1	
日本語４－Ⅳ－２	1④			1			○							1	
日本語４－Ⅴ－１	1①			0.5			○							1	
日本語４－Ⅴ－２	1②			0.5			○							1	
日本語４－Ⅵ－１	1③			0.5			○							1	
日本語４－Ⅵ－２	1④			0.5			○							1	
日本語５－Ⅰ－１	1①			0.5			○							1	
日本語５－Ⅰ－２	1②			0.5			○							1	
日本語５－Ⅱ－１	1③			0.5			○							1	
日本語５－Ⅱ－２	1④			0.5			○							1	
日本語５－Ⅲ－１	1①			0.5			○							1	
日本語５－Ⅲ－２	1②			0.5			○							1	
日本語５－Ⅳ－１	1③			0.5			○							1	
日本語５－Ⅳ－２	1④			0.5			○							1	
日本語５－Ⅴ－１	1①			0.5			○							1	
日本語５－Ⅴ－２	1②			0.5			○							1	
日本語５－Ⅵ－１	1③			0.5			○							1	
日本語５－Ⅵ－２	1④			0.5			○							1	
日本語５－Ⅶ－１	1①			0.5			○							1	
日本語５－Ⅶ－２	1②			0.5			○							1	
日本語５－Ⅷ－１	1③			0.5			○							1	
日本語５－Ⅷ－２	1④			0.5			○							1	
日本語５－Ⅸ－１	1①			0.5			○							1	
日本語５－Ⅸ－２	1②			0.5			○							1	
日本語５－Ｘ－１	1③			0.5			○							1	
日本語５－Ｘ－２	1④			0.5			○							1	
日本語Certificate	1②			1			○							1	

		スポーツ実技Ⅰ－１	1①			0.5				○						2	
		スポーツ実技Ⅰ－２	1②			0.5				○						2	
		スポーツ実技Ⅱ－１	1①			0.5				○						2	
		スポーツ実技Ⅱ－２	1②			0.5				○						2	
		スポーツ理論１	1③			1		○								1	
		スポーツ理論２	1④			1		○								1	
		小計（307科目）	－	－		232		－			18	7	3	9		312	
教養基礎教育科目（医学科必修分）	教養教育科目	初年次ゼミⅠ「医学」	1①	○	1	1		○			1			1			※演習
		初年次ゼミⅡ「医学」	1②	○	1	1		○			1			1			※演習
		医学英語Ⅰ	1①	○	1	1		○				1		1			
		医学英語Ⅱ	1②	○	1	1		○				1		1			
		医学英語Ⅲ	1③	○	1	1		○				1		1			
		医学英語Ⅳ	1④	○	1	1		○				1		1			
		英語Certificate	1通年	○	1	1		○								1	メディア
		データサイエンスリテラシー概論	1前	○	1	1		○								1	メディア
		小計（8科目）	－	－	8	8		－			2	4		6		2	
	基礎教育科目	統計基礎Ⅰ	1①	○	1	1		○								1	メディア
		統計基礎Ⅱ	1②	○	1	1		○								1	メディア
		応用統計Ⅰ	1③	○	1	1		○								1	
		応用統計Ⅱ	1④	○	1	1		○								1	
		医系物理	1前	○	1	1		○			3		1	1		1	
		医系化学	1①	○	1	1		○						1			
		医系生物	1①	○	4	4		○				2					
		情報処理	1②	○	1	1		○				1		1			
		小計（8科目）	－	－	11	11		－			3	3	1	3		5	
合計（429科目）			－	－	193	279		－			284	141	162	510		612	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
○〔卒業要件〕 6年以上の修業年限在学し，教養基礎教育科目27単位以上，専門教育科目から177.5単位以上，合計204.5単位以上を修得すること。 ○〔履修方法〕 〔医学科〕 教養教育科目　8単位 基礎教育科目　11単位 専門基礎科目　177.5単位 自由選択　8単位 合計204.5単位以上を修得すること。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１３～１９週
	１時限の授業の標準時間	８０分 （教養基礎教育科目は９０分）

（注）
1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
2　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
4　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
6　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
7　「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
8　「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
9　「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
10　課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
（１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
（２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
（３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
11　高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。